

清友

発行者
日根野 文三
発行所
大阪市天王寺区清水谷町2-44
大阪府立清水谷高等学校内
社団法人 清友会
同 窓 清友会
TEL.06(6768)4159 FAX.06(6770)5015
http://www12.ocn.ne.jp/~seiyukai/
Eメール: seiyukai@carrot.ocn.ne.jp

いよいよ迎える…創立110周年

記念募金にご協力を!!



校舎玄関ホール上に設置された横断幕

創立110周年記念横断幕写真……………	1	公開セミナー案内……………	14
理事長挨拶・東京支部だより……………	2	前年度講演要旨・清友幼稚園……………	15
校長挨拶・東海支部だより……………	3	回生だより……………	16~19
創立110周年記念事業・こんにちは先輩……………	4・5	集う・楽しむ同窓生……………	20
公益法人制度改革……………	6・7	クラブ代表会だより……………	21
総会報告……………	8・9	回生代表会だより・海外旅行……………	22
在校生の活動報告……………	10	フェスタ清友の案内・役員紹介……………	23
創立110周年記念募金芳名録……………	11~13	清友会行事のお知らせ・事務局だより……………	24

社団法人 清友会の変革



理事長

日根野 文三

(高22回)

会員の皆様にはご盛業のこととお慶び申し上げます。日頃は清友会に種々ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

去る6月19日の総会に於きまして、皆様からお預かりいたしました年會費に基づく平成21年度事業報告・決算等並びに本年度事業計画・予算等の承認をしていただきました。多数のご参加をいただきありがとうございます。

さて、公益法人制度改革への社団法人清友会の対応についてご報告いたします。

1、まず経緯につきまして、次のとおりです。
・平成18年の公益法人三法の成立に伴い、平成20年12月1日より改革への手続法令が施行されました。

・5年間の期間がありましたが、平成25年11月30日迄に社団法人清友会とし

ても大筋の理解をいただいているところでありあります。

また、答申を具体的に進める上で、重要な手続き上の問題があります。

社団法人「解散」決議のためには現行定款で総会員(16,000名)の3分の2以上の賛成が必要となっており、現実的には実行不可能です。この為、定数緩和等の定款変更を先行せねばなりません。

4、従いまして、今後の定時総会に於きまして自主解散の決議及び具体的手続きのご説明をさせていただきます。また、ご意見を頂きまして、ご理解を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

次に、平成23年に清水谷高等学校は創立110周年を迎えます。平成20年10月に清友会・学校・PTAから選出された委員で構成される「創立110周年記念事業実行委員会」が発足し、2年弱の間準備を進めてまいりました。本校におきましては平成23年度を創立110周年記念年度とし、各行事に冠として「創立110周年記念」と記させていただきます。

平成23年6月総会の懇親会をオーブニングセレ

モニーとし、11月の記念式典等へ向かって参りたいと企画しています。(記念事業の詳細は4、5頁をご覧ください。)

第三に、清友会各種事業への積極的ご参加をお願いいたします。公開セミナー・フェスタ清友・文化講座・観劇会・ゴルフ会・新年互礼会等で、大いに清友会ライフをお楽しみください。在校生の活躍にも大いに注目・応援してやっていただく事をお願い申し上げます。

第四に、東京支部・東海支部との組織の一体性を持った、より一層の相互交流を続行して参りたいと存じます。

第五に、昭和21年4月に先輩方のご尽力で設立されました清友幼稚園ですが、清水谷精神に則り理想の幼児教育を目指して精進して参る所存です。

最後に、清友会活動は皆様の会費により資金的に支えていただき深く感謝いたしております。清友会事業への皆様のご理解とご参加による精神的なご支援もお願い申し上げます。皆様方のご支援の下、清友会全体の一層の活性化に努める所存ですので宜しくお願ひ申し上げます。

東京支部だより

東京支部長

高10回 中島 汎仁

今年も無事当選の幸運に恵まれました。さて、昨年の東京支部総会は、10月17日(土)に、この清澄庭園にて開催し

一昨年の支部だよりにも触れましたが、東京支部総会の会場は、東京駅大丸百貨店「ルビーホール」が再開発により閉鎖されてから、この4年間というものの、霞が関ビルなどを経て毎年会場が変わっておりますが、昨年ようやく安定できそうな会場「清澄庭園」にて実施することができました。清澄庭園は、古く江戸時代からの庭園と伝えられていますが、明治11年に岩崎弥太郎が新しく開園し、現在は東京都が「都指定名勝」として管理運営されている庭園です。支部総会は、10周年記念会に向けた取組みならびに募金活動に会場として実施しました。また、ホテルのような豪華さやサービスは望めませんが費用的には格段に利用しやすく都心の中の落ち着いた庭園にお馴染みでしたが、100の雰囲気と相俟って同窓会に相応しい会場ではないかと思っております。ただ、の意義について、さらに抽選による利用申し込みとをいただきました。平成21年度東京支部の事、業報告、会計報告など総会



昨年より引き続き、幹事グループの皆様には大変お世話になります。同窓会には不思議な力があ

今年も無事当選の幸運に恵まれました。さて、昨年の東京支部総会は、10月17日(土)に、この清澄庭園にて開催し、清澄庭園から、当時新制高校発足に伴い高津高校から清水谷高校へ転校するいきさつや正門スロープを登校する時、女子学生の大拍手に迎えられたことなど、懐かしいお話があり、会場は進みました。中ほど、「裁判員制度あれこれ」と題して、南三堀様(東海支部長、高6回)校長からは、からお話をいただきました。母校の近頃、本制度が始まって2丁度、本制度が話題となった3の事例が話題となった。スタ清友頃で皆さんの関心も高く、本制度についてわかりやすくお話をいただきました。あ紹介いただきありがとうございました。後半、本科回生は、お一人の加藤伊藤副会(本41回)がお忙し中をわざわざ駆けつけて下さいました。ありがとうございます。おおよび1 今年の支部総会は、平成22年10月16日(土)、冒頭の東京都「清澄庭園」にて13:30開催の予定です。総会開始前に庭園の散策を頂くため12:30に受付を開始します。秋のひと時皆様お誘い合わせでご出席下さいませ。昨年同様お持ちしています。お話をさせていただきます。同窓会には不思議な力があ

「あこがれ」

清水谷はひとつ

深める絆、次代に繋ぐ



校長 南 太一郎

社団法人清友会、同窓

清友会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より母校清水谷に対してご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

れた。

爾来、6月12日は清水谷高女の開校記念日とされ、昭和23年の新制高校制度が施行されるまで途切れることなく記念式典が行われたと「清水谷百年史」巻末の年表には、記載されている。

この記念すべき6月12日に、来年度の創立110周年記念事業実施を予告する横断幕開き式が清友会、PTA、教職員の参加を得て行われた。

横断幕は玄関のピロテイ正面3階ベランダに高くと掲げられた。世に言う清水谷ブルー地に白文字で「清水谷はひとつ」深める絆、次代に繋ぐ」と大書されている。

本校は明治33年4月に大阪市立第二高等女学校として設立が認可され、翌34年4月には南区千年町校舎から現在の校地に於ける東区清水谷東の町に移転される。6月3日には大阪府立清水谷高等女学校と改称され、6月12日に開校式典が開催さ

一人の人間を他の人間と区別しているものは何



ます。同期の集まりはもちろんです。同じクラスであつたわけでもなく当時はあまり話すらしなかつたのになぜこのように懐かし

東海支部だより

東海支部長 高6回 三堀 俣

か、つまり、その人をその人たらしめているものは何かと言うと、それは「過去」である。故に、「過去の記憶を喪失した人間は、同時に未来をも失い」、また「人が未来に向かつて行動を起こす出発点はその人の過去であり、現在そのものでは決してない。なぜなら、現在とは過去の集積そのものだから」である。学校にも同じことが言える。わが清水谷高校は他の学校とどこが違うのから清水谷なのか。それは他に類を見ない輝かしい過去を持つてい

本年度の総会は、母校清水谷の南校長先生、清友会本部伊藤副理事長様、東京支部浜口副支部長様をお迎えして、例年通り6月の第四日曜日に、名鉄ランドホテル「涵梅舫」にて開催されました。母校の校長先生が東海支部の総会に参加されましたのは東海支部の50有余年の歴史上はじめての出来事でございます。記念すべき参加者は、ご来賓の方3名と、特別会員の森川先生が久方ぶりで参加され、正会員は高3回生の駒澤様を筆頭に高25回生の山本幹事まで10名、総勢14名とほぼ昨年と同様の参加者です。毎年参加されておりました本科44回生の下坂様が東京に転居され、ついに本科生の方がゼロとなりました。高2回生の国原様もご入院中で欠席となりました。

創立110周年を機に「温故知新」。世代を超えて絆を深め、このよき伝統を若者に託す。これからの未来のために、清友会、PTA、教職員が一体となって生徒たちを支えていく。

生が東海支部の総会に参加されましたのは東海支部の50有余年の歴史上はじめての出来事でございます。記念すべき参加者は、ご来賓の方3名と、特別会員の森川先生が久方ぶりで参加され、正会員は高3回生の駒澤様を筆頭に高25回生の山本幹事まで10名、総勢14名とほぼ昨年と同様の参加者です。毎年参加されておりました本科44回生の下坂様が東京に転居され、ついに本科生の方がゼロとなりました。高2回生の国原様もご入院中で欠席となりました。

活躍の様子などをご報告いただきました。清友会伊藤副理事長様からは、社団法人清友会の解散手続きのご報告と、110周年記念記事を見て「...」で始まる北九州市の77歳の田原和子様が書かれたものです。要は星の王爺様は岡竹先生で、先生が清水谷の前の高校の先生をしてもらった時の生徒が田原様です。そして、先生の最高齢者の生徒として電話とFAXで講義を受け星の勉強をされ、その状況高11回生を記事にしておられます。の西村氏先生と別れてから何年たつたの大阪、ているのでしょうか。もう一つの事柄は、清水谷在学時の九州方面への修学旅行の時のバスのガイドはその証さん、志柿晴子さんを探し左でもあ出して、46年ぶりに岡竹先生ご担任の2年D組クラスまた、今会での記念文集に「修学旅行バスの思い出」という記事が掲載していただいたと高いうことです。この二つの先生と生徒の結びつき、遡って調べる意欲、何か今の学校教育とかけ離れた別の世界にいるような感動を覚えてきました。



学びの庭に光あれ 学びの友に栄えあれ

今年の懇親会も特別な趣向はありませんが、例年と同じように和やかな雰囲気の中で始まり、近況を報告しあいました。その中で注目する事柄を報告します。高8回生の蜂谷副支部長の報告ですが、今年の4月11日発行の朝日新聞の記事です。

来年の総会も今年と同じ6月の第四日曜日(6月26日)場所も同じ「涵梅舫」で行われます。お誘い合わせご参加ください。

- 同窓清友会東京支部
- 支部長 中島 汎仁(高10回)
- 副支部長 岡本 和夫(高10回)
- 森 正行(高19回)
- 伊部千代子(高19回)
- 吉田 順(高22回)
- 久川 和彦(高24回)
- 浜口 一恵(高25回)
- 福本 和生(高31回)
- 中村 知司(高32回)
- 始岡 尚子(高32回)
- 藤田 正数(高33回)
- 河合 良正(高33回)
- 藤田 光雄(高11回)
- 繁田賢太郎(高15回)
- 監査役

一人の人間を他の人間と区別しているものは何

一人の人間を他の人間と区別しているものは何



創立110周年記念事業

記念式典・記念講演会

日時 平成23年11月6日(日)
午後1:30～午後4:30
場所 NHK大阪ホール
予定人数 1400名
(学校教職員・生徒・PTA・清援会
約1,000名、清友会 約400名)
立ち見不可

式次第について

第一部 記念式典 司会 清友会
女学校・高校 校歌斉唱、挨拶等

第二部 記念講演
講師 小田 章 氏

第三部 イベント 司会 生徒
高14回生(和歌山大学前学長)
生徒たちの発表(合唱部、オーケストラ
アンサンブル部、ダンス部などを予定し
ています。)

清友コーラスなど合同で出来るパフォー
マンスなどを予定しています。

記念祝賀会

日時 平成23年11月6日(日)
午後6:00～午後8:30
場所 ホテルニューオータニ大阪
会費 1万円、着席・コース料理
予定人数 約400名



記念イベント

創立110周年記念事業年の期間中、学
校行事に「110周年」の冠を付けて実
施します。記念事業の三位一体の基本方
針から、いろいろな行事を通して学校(生
徒)・PTA・清友会が一緒に活動をす
る良い機会と捉え、体育祭・文化祭など
に積極的に清友会も参加をしていくこと
になりました。ぜひこの機会に、「母校
に帰ろう」の合言葉のもと、たくさんの方
にご参加いただきますようお願いしま
す。

現在、予定している企画

体育祭
教職員・PTA・清友会対抗の玉入れを
します。ぜひのご参加をお待ちしていま
す。
体育祭・スポーツ大会のトロフィーを寄
贈します。

文化祭

110周年の記念マフラータオルを販売
します。
PTAは、バザーを毎年開催しています。
清友会も会員の作品を展示する作品展を
計画しています。会報・ホームページ等
で作品の募集をいたしますので、皆様の
出展をお待ちしています。

フェスタ清友をもとに、1年間(平成22
年11月～平成23年11月)の間に各クラブ
単位でそれぞれが現役とOB・OG会の
交流会を実施します。

記念誌発行

100周年より110周年までの10年間
の記念誌を発行します。

A4判 96頁(カラー56頁)

【内容】

口絵写真・挨拶・祝辞
創立100周年までの沿革
創立100周年以降の歩み
各期の思い出(高54回生～高65回生)
清友会

PTA・清援会
資料・記録

済美館改修 在校生支援



第一に、済美館は大正14年竣工の同窓会
館として、清水谷高校に唯一現存する高
女時代の建物です。大正時代の独立した
建物というのも貴重であり、アール形式
の仕様も大変珍しいものです。昭和54年
の大規模補修から30年を経過したこの済
美館を次の世代に残していく為に、耐震
診断を基に必要な箇所の耐震補強を行
うと同時に、防水補修、クラック補修等が
必要になってまいりました。

第二に、同窓会員だけでなく、在校生も
授業やクラブ活動等多岐にわたり有効に
活用できるよりよい済美館として整備す
る計画をたてています。

改修費用には約2500万円が必要とな
り、110周年記念募金の大半が済美館
改修・在校生支援に充たされ、募金額
が少ない場合は、改修工事の規模を縮小
せざるを得なくなりますので、皆様の格
段のご協力をお願いいたします。

記念募金

平成22年6月現在、約950名の方から
約910万円、学校の110周年積立金
から300万円、合計約1210万円の
ご寄付を頂いています。

上記、記念事業、特に多額の費用がかか
る済美館改修も含めて、皆様のお力で記
念事業を成功させることができますよう
よろしくお願いいたします。

◎郵便振替口座
大阪府立清水谷高等学校
110周年記念募金
00920151254549

▽同封してあります郵便振替用紙にてお振込
下さい。

◎銀行振込
6月から、郵便振替に加えて、銀行振込で
も入金していただけます。

口座名義人
大阪府立清水谷高等学校 創立110周
年記念募金委員会 会長 日根野文三

・三井住友銀行 玉造支店
普通預金 6570978
・三菱東京UFJ銀行 谷町支店
普通預金 0027191
・みずほ銀行 天満橋支店
普通預金 1157373

・りそな銀行 大阪営業部
普通預金 1355367

▽お名前の前に、回生を記入、もしくは入
力してください。

例 高22 清水 太郎

記念募金をお寄せ頂いた方の回生とお名前
は会報に掲載いたしますが、個人ごとの金
額は掲載いたしませんのでご了承下さい。
回生別合計金額は11頁の募金集計表をごら
ん下さい。

なお、匿名希望の方は通信欄にその旨でご記
入下さい。清友会ホームページにて、11
0周年記念事業の新しい情報など、ご案内
いたしますのでご覧ください。
<http://www.12.ocn.ne.jp/~seiyukai/>

大阪府立清水谷高校創立110周年記念募金趣意書

清水谷はひとつ～深める絆、次代に繋ぐ

創立110周年記念事業実行委員会

本校は1901年(明治34年)に「大阪府立清水谷高等女学校」として開校されました。1948年(昭和23年)4月に男女共学の全日制普通科高校「清水谷高等学校」として新たにスタートし、2001年(平成13年)には100周年記念事業が実施されました。

この度、清水谷高校創立以来の歴史に思いを馳せ、さらなる躍進を願い、様々な記念事業を通じて、母校で学ぶ生徒たちに卒業生の清水谷に寄せる熱き思いを伝えるなど、「清水谷はひとつ～深める絆、次代に繋ぐ」をめざして、2011年(平成23年)に創立110周年記念事業を実施することが決定されました。

現在、清友会、PTA・後援会、学校が一体となって各事業委員会を設立し、下記の事業計画案を機軸に具体的な計画立案を進めております。

つきましては、この機会に募金をお願いし、創立110周年記念事業を盛大に実施いたしたいと存じますので、何卒趣旨にご理解賜り、ご協力いただきますよう切にお願いする次第でございます。

<事業計画案>

- 1 平成23年度(2011年4月～2012年3月)を「創立110周年事業年」とする。
- 2 記念式典並びに祝賀会の開催(平成23年11月6日を予定)
- 3 記念誌の発行
- 4 済美館改修並びに在校生支援事業
- 5 その他創立110周年記念イベントの実施
- 6 創立110周年記念募金概要

① 一口 1,000円

恐縮ながら、できましたら清友会会員は10口以上お願い致します。

② 募金期間 平成21年10月～平成23年12月末日

③ 送金方法 氏名、回生を明記の上、郵便局でお振込下さい。(銀行振込も可。p.4参照)

郵便振替 口座番号 00920-5-254549

口座名称 大阪府立清水谷高等学校110周年記念募金

社団法人清友会理事長・同窓清友会会長	日根野 文三
大阪府立清水谷高等学校PTA会長	大喜多 正己
大阪府立清水谷高等学校清友会会長	荒木 康史
大阪府立清水谷高等学校長	南 太一郎

平成21年10月吉日

インタビュー

こんにちは 先輩!

「清水谷で学べて良かった!」



昭和13年4月
清水谷入学記念
毛糸の制帽最後の学年

はどんなに嬉しかったことか。喜びも倍増でした。

(※ええ!良い)

「特筆すべきことは、初代大村校長先生から創立40周年まで三代の校長先生だったとお話になりましたが、今では考えられないことです。」

「天下の模範校、清水谷」と言わしめたのは、女子教育の第一人者として有名だった初代校長大村忠次郎先生が21年間、藤沢茂登一先生が14年間、生田鹿之丞先生が6年間、精魂こめて清水谷の基盤を築いて下さったことにあり、心から感謝しなればならないと思います。大村校長先生の提唱された教育方針の総括「愛と怒」。当時は言葉そのままで受け止めていただけでしたが、卒業後もこの言葉は何となく何処となくいつとも心に残っていたのです。年を取った今このことが本当に大切なことだと思えます。

○制服に憧れて受験されたとか:

昭和の初期、清水谷は「難しい*ええ学校」と全国にその名を知られていました。清水谷ブルーのセーラーカラーに茶色の毛糸の帽子を被ることは少女たちの夢であり、憧れでした。私も茶色の毛糸の制帽が被りたくて被りとうてい猛勉強しました。合格するために小学校では朝夕厳しい補習授業をしてくれましたが、あんなに勉強したことはありません。人間誰でも振り返って「本当によく勉強した」と思える時がある人は幸せで力が付いていると思います。清水谷の合格発表は他校より遅かったので本当に長いことハラハラドキドキ。それだけに合格した時

(※怒(じよ) : ゆるすこと)

○今も嬉しいことは何ですか。

卒業して70年近く経った今でも清水谷へ行けば当時のままの桜並木のある懐かしい坂道があり、登って行くとき木々に囲まれた中に済美館が見えてくる。建物が新しくなっても母校が昔のままの地にあることは幸せです。清友会の会合でこの年になって母校に赴けるのはとても嬉しく感謝しています。訪れたい母校も無くなり心のふるさとのない淋しい人もいる中で...

○元氣瀦刺、病氣知らずの地域

活動家として頑張っていたらっしやるとお聞きしています。

いえいえ、もう85歳ですからね。加齢とともに痛いところ、調子の悪いところも増えてきました。64、5歳のころ、双方の両親を見送ったあとと虚脱感に襲われ、生きがいを見出せなくなつたこともありました。そして70歳の時にはガンの手術。無事に退院出来たので何かしなげればならないと一念発起。大阪府のシルバードバイザーと消費生活リーダー養成講座を受講して資格を取り、地域活動家として、また会のナビゲーターとして、「高齢者の料理勉強会」と話し合いの会を立ち上げました。男性たちにお料理の手ほどきをしながら高齢期の生き方などを互いに話し合っって12年になりました。50年以上羽仁もと子さんの「友の会」で学んだ素地があったことも幸いして話し合いの会は「男の井戸端会議」と異名を取り、皆さん喜んで貰えたことと生きがいとなっています。会員も私も年を重ね同じ形を維持するのが難しくなつた今、新しい形を模索中です。

○本田さんありがとうございました。最後に若い後輩たちへひとことお願いします。

戦争中に人の命のはかなさを知った先を歩く先輩として若者への一言は、自他共に人の命を大切に精一杯生きて欲しいと思います。また、かけがえのない日本の伝統と文化を守って欲しいと思います。

清友学園の歴史や貴重な戦争体験、興味深い女学校生活などのお話を沢山して頂きましたが紙面の都合上掲載できませんでしたが、またの機会を楽しみにしたいと思います。

解散について

- 1 公益法人が見直され、制度が変わった。
平成18年6月2日次の3つの法律が成立し、平成20年12月1日から施行された。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（一般社団・財団法人法）
- 3 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（公益法人認定法）
- 4 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（整備法）

- 1 現行の社団法人・財団法人は、新法施行の日から起算して5年を経過する日までの間、一般社団法人・一般財団法人とみなされる。新しい公益法人への移行の登記をしていないものを「特例社団法人」「特例財団法人」という。合わせて「特例民法法人」という。
- 2 特例民法法人は、移行期間内に、公益性の認定の申請、又は、一般法人への移行の認定の申請ができる。

- 1 公益性の認定は、国の場合、内閣府に公益認定等委員会が設置され、また、都道府県の場合、合議制の機関が設置され、それぞれ公益認定の基準に適合するかどうかを判断する。
- 2 特例民法法人は、移行期間中に公益性の認定又は移行の認定を受けていないときは、移行期間満了の日をもって解散したものとみなされる。

- 1 法律の専門用語に権利能力がある。権利能力というのは私法上の権利義務の帰属主体となることができる資格のことである。権利能力をもつのは、自然人と法人である。
- 2 すべての自然人は出生から死亡までの間完全な権利能力（人格）を認められる。権利能力の始期→出生 終期→死亡 犬・猫はダメ。たとえばペットにしている愛犬の名前で土地を購入することは認められない。
- 3 胎児については、例外的に権利能力が認められる場合がある。

第2 法人という意味

- 1 認定法では、公益目的事業を「学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であつて、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」（認定法2条4号）と定義し、「学術、科学技術の振興」「文化、芸術振興」などの23の事業を掲げている。公益社団法人の主たる目的は公益目的事業でなければならない。
- 2 清友会の主たる事業目的は同窓会活動である。
- 3 事業活動を行うに際し、公益目的事業比率が50%以上である。
- 4 公益であるから、不特定多数の人々に利益をもたらすことが要求される。

第3 清友会はなぜ公益社団法人に

- 1 認定法では、公益目的事業を「学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であつて、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」（認定法2条4号）と定義し、「学術、科学技術の振興」「文化、芸術振興」などの23の事業を掲げている。公益社団法人の主たる目的は公益目的事業でなければならない。
- 2 清友会の主たる事業目的は同窓会活動である。
- 3 事業活動を行うに際し、公益目的事業比率が50%以上である。
- 4 公益であるから、不特定多数の人々に利益をもたらすことが要求される。

第4 清友会はなぜ一般社団法人に

- 1 認定法では、公益目的事業を「学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であつて、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」（認定法2条4号）と定義し、「学術、科学技術の振興」「文化、芸術振興」などの23の事業を掲げている。公益社団法人の主たる目的は公益目的事業でなければならない。
- 2 清友会の主たる事業目的は同窓会活動である。
- 3 事業活動を行うに際し、公益目的事業比率が50%以上である。
- 4 公益であるから、不特定多数の人々に利益をもたらすことが要求される。

社団法人清友会
理事長 日根野文三殿

平成22年5月22日

答 申 書

平成22年3月設立の「組織検討委員会」では過去3回の会合で検討した結果 以下の事項を答申する。

社団法人清友会組織検討委員会委員長 安江貞夫

答 申 の 趣 旨

- 1 社団法人清友会を自主的に解散する
当社団法人は同窓会の性格から、一般社団法人への移行は、手続き・運営、その上移行するメリット等を考慮しても困難であり、解散することが望ましい。
解散した場合の最大の関心事である残余財産の取り扱いについては、出来るだけ母校および同窓会関係への有効活用を考えているが、現時点では、母校への教育資機材の寄贈等が最も有効な活用法である。創立110周年にあたる平成23年度を控え、今後も継続して有効活用法を検討する。
- 2 定款の変更
解散の決議のためには、現在の定款では会員総数約16千名の3分の2の賛同が必要となっており、現実的には解散は不可能であり、規定緩和等の定款の変更を行うものとする。同時に入会金の取り扱いを社団法人から同窓清友会に移行する規約の変更も行う事とする。
- 3 本答申に沿った今後のスケジュール
平成25年11月の新制度への移行期限を待たず、出来るだけ早く自主的に解散する。
そのために
① 社団法人清友会を解散して同窓清友会のみとする本答申の趣旨を会員に説明する。
② 大阪府教育委員会との協議
③ 定款の変更決議（平成23年6月総会にて）
④ 解散の決議（平成24年6月総会にて）とする。

答 申 の 理 由

- 1 同窓会は、事業の目的、事業内容、会員の定義、会費の徴収、総会等での決議運営方法など、公益法人としては全てにわたって問題点が多い。
- 2 以前から社団法人清友会の解散の可能性も考慮し、同窓会組織を継続するために、平成17年4月23日に任意団体としての同窓清友会を組織し、同窓会の運営に支障がないように準備してきた。
- 3 解散決議の手続きについては、すでに大阪府教育委員会のアドバイスがあり、解散期限（平成25年11月）を待たず自主的な解散を目指す。
以上の理由により解散することが望ましい。

社団法人清友会の

通常の一般社団法人へ移行した法人はみずから作成した公益目的支出計画に定めたとこ

ろに従って公益のための支出を行わなければならぬ。

当該法人は公益目的支出計画の履行を確保するために必要な範囲内において行政庁の監督を受けることになる。

- 3 社員名簿を作成できるのか。
- 3 社員の生死、社員の住所・居所などを正確に捕捉しているのか。

第5 清友会は自動的に解散するのか自主的に解散するのか

- 1 清友会の残余財産をどうするか。通常は不動産と現金をどうするか。
- 2 唯一の不動産である済美館はだれの所有か。敷地である土地は大府の所有である。清友会は大府の使用許可を受けている。

建物は未登記であり、固定資産税は支払っていない。原則として1階・3階は清友会が使用し、2階は清水谷高校が使用している。2階について清友会と高校との間で使用貸借契約がある。建物の所有権は社団法人清友会なのか同窓清友会なのか、いろいろ議論はあった。しかし、現在では、同窓清友会の所有とみている。社団法人清友会の基本財産の中に含まれていないこと、済美館の建築時期が社団法人清友会の設立時期より早いこと、などが理由である。

- 3 同窓生から寄付されたものなど各種記念品(動産)は当然同窓清友会の所有である。
- 4 残余財産としての現金をどうするか。特に寄付した同窓生が一番関心を持っている。母校である清水谷高校に寄付するのがよいと考える。
- 5 そのために、監督官庁である大阪府教育委員会と協議を重ね、指導も受けた。その結果

このまま放置しておくとも移行期間満了で自動的に解散とみなされること、かなりの数の同様の法人が出現する可能性が高いこと、そうなるもし通達が出ればそれに従わざるを得ないこと、結局残余財産(現金)の処分について選択肢が狭められることが予想される。

6 そこで、できるだけ早く自主的に解散の決議をして、残余財産の処分を自分の意思で決定する。その際、現金をそのまま清水谷高校に直接寄付することはできないが、物(備品)としてなら寄付することは可能であると助言される。また、現行の定款は解散の議決が困難なので、定款の変更をしたらどうかと助言される。

7 今後のスケジュールは次のとおりである。

平成22年の定時総会で社団法人清友会の解散の方針を理事長の挨拶で述べ。同年度中の機関紙に解散の方針を示唆するとともにその理由を説明する。次期以降の定時総会の案内の中に社団法人の解散を議題にしておく。前提条件になる定款の変更も議題に入れておく。

平成23年の定時総会で社団法人清友会の定款の変更の議決をする。

平成24年の定時総会で社団法人清友会の解散の議決をする。同年度中に残余財産の現金を使って清水谷高校に対し備品を寄付する。清算手続を完了する。

平成23年の定時総会で定款が変更されることを条件に解散の議決することも可能である。そうすると1年早く清算手続を終了させることができる。

第6 同窓会清友会

- 1 現行の社団法人清友会と同窓清友会の2本立てから、同窓清友会の1本になる。
- 2 同窓清友会は、今後、権利能力なき社団として、行政庁の監督を受けずに、真に同窓会活動に邁進することができる。

I 定款の変更案

現行定款	改正案	理由・備考
第7条 正会員は入会の際5,000円を納めるものとする。	第7条 正会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。	①毎年新卒生から1人あたり5,000円の入会金を徴収している。しかし、社団法人清友会は解散する予定であるので、財産を増やしたくない。 ②同窓清友会が代わって入会費及び年会費を徴収する。このための規約を改正する。 ③あえて別段の定めをしない。
第28条 本会を解散せんとするときは、役員4分の3以上の同意を以って総会に提案し、総会員3分の2以上の賛成を経、且つ主務官庁の許可を受けることを必要とする。 会員は解散の決議に対しては書面または代理人を以って議決権を行うことを得。但し代理人は会員に限る。	第28条 本会の解散は、理事会、評議員会並びに総会の決議を経て主務官庁の許可を受けることを必要とする。但し議決は出席者の3分の2以上の賛成を得ることを要する。 会員は総会の解散の議決に関しては書面または代理人をもって議決権を行うことができる。但し代理人は会員に限る。	①解散の決議は社団法人にとって最重要事項である。理事会・総会のほかに、評議員会の議決も必要である。 ②出席者の過半数の普通決議ではなく、3分の2以上の特別決議を必要とする。 ③「総会員」の3分の2以上は実際上不可能である。
第29条 本会解散の場合における残余財産の処分は、評議員会の決議を経、主務官庁の許可を得て之を定める。	第29条 本会解散の場合における残余財産の処分は、理事会及び評議員会の決議を経て、主務官庁の許可を得て之を定める。	①残余財産の処分は、重要事項である。評議員会のほかに、理事会の議決が必要である。 ②さらに、総会の議決も必要とする考えもあるが、機動性の点から不要としたい。

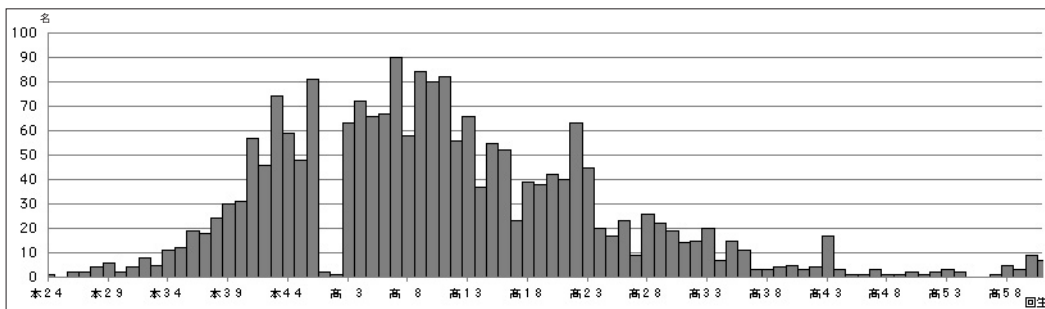
II 規約の変更案

現行定款	改正案	理由・備考
(なし)	(入会費) 第16条 正会員は入会の際5,000円を納めるものとする。	定款の変更に合わせて、新設する。
(会費) 第16条 正会員は年会費として金2,000円を毎年所定の方法により支払うものとする。	(年会費) 第16条の2 正会員は年会費として金2,000円を毎年所定の方法により支払うものとする。	入会費の規定を新設したのに伴い、年会費の規定を1条ずらし、枝番号とする。

平成21年度回生別年会費納入状況

2,088人の方から
¥4,188,000円の納入

会費2,000円を納入して頂いておりますが、納入金額が減少しており、財政的に厳しい状況です。皆様方の一層のご理解ご協力をお願いいたします。



平成22年度 社団法人清友会総会報告

予算総会報告

平成22年度の事業計画・予算(案)を審議する総会が平成22年4月24日(土)14時30分から済美館3階にて開催された。当日は、委任状186名を含む234名の出席で活発な審議が行われ、別掲の平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)が提案され、挙手多数にて承認された。

引き続き、昨秋発足した110周年記念事業実行委員会の、その後の詳細な活動報告、並びに公益法人制度改革に対応するため今年3月設立された組織検討委員会の内容と今後の予定について、資料に沿って説明がなされた。また、会費納入について、今後はコンビニからの支払いが可能となり、今秋発行の会報に同封の郵便振替用紙にコンビニ収納用の用紙が付くことが報告された。

決算総会報告

ホテルグランヴィア大阪にて、平成22年6月19日(土)12時から、来賓の先生方10名、新入会員10名と委任状38名を含む、217名の出席で盛大に総会が開催された。開会の辞の後、日根野理事長より挨拶があり、学校関係者、並びに東京・東海各支部代表ご出席への謝辞を述べられ、続いて、昨年の会報発行以降の状況説明が詳細に行われた。次に議事に入り、理事長が議長となり、本総会の議事録署名人に岩田理事・西田評議員が選任された。議案書に則り別掲の平成21年度事業報告(案)並びに、決算報告(案)が、各担当理事から報告された。監査については、松宮監事より、すべて適正な処理が行なわれている旨の監査報告が行われた。これを出席者に諮ったところ、拍手多数にて承認、可決された。続いて、110周年記念事業実行委員会の各委員会別の活動報告、特に記念募金へのご協力依頼を行った。また、社団法人清友会の解散について、資料に沿って詳細な説明がなされ、本総会は終了した。

社団法人清友会 平成21年度収支決算書 正味財産増減計算書

(平成21年5月1日から平成22年4月30日まで)

科 目	平成21年度
I. 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	7,044
② 受取入会金	1,585,000
③ 事業収益	
文化講座	1,578,000
④ 会合費収入	48,000
経常収益計	3,218,044
(2) 経常費用	
① 事業費	
文化講座	1,578,000
セミナー	142,440
会報印刷費	1,169,435
通信費	836,793
人件費	1,004,500
② 管理費	
総会費	311,325
会合費	115,160
旅費交通費	235,660
通信費	272,084
水道光熱費	47,321
事務費	107,571
消耗品費	81,695
転退職員記念品料	20,000
新入会員記念品料	332,000
備品費	320,180
修繕費	2,722,250
システム関連費	88,200
教育・文化等振興援助費	1,218,980
雑費	78,332
経常費用計	10,681,926
当期経常増減額	△7,463,882
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 運用財産利息	9,326
② 雑収入	21,075
経常外収益計	30,401
当期経常外増減額	30,401
当期一般正味財産増減額	△7,433,481
一般正味財産期首残高	29,682,704
一般正味財産期末残高	22,249,223
II. 正味財産期末残高	22,249,223

社団法人清友会 貸借対照表

(平成22年4月30日現在)

科 目	当年度
I. 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	2,249,223
流動資産合計	2,249,223
2 固定資産	
基本財産	20,000,000
基本財産合計	20,000,000
資産合計	22,249,223
II. 正味財産の部	
1 一般正味財産	22,249,223
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)
正味財産合計	22,249,223
負債及び正味財産合計	22,249,223

社団法人清友会 平成21年度事業報告

1 総会と各種会議

- ①平成20年度決算総会：平成21年6月21日(日)
＜ホテルグランヴィア大阪：237名(委任状含)＞
- ②平成22年度予算総会：平成22年4月24日(土)
＜済美館：219名(委任状含)＞
- ③理事会：9回＜5/23・7/11・9/12・10/10・11/14
・1/16・3/6・3/27・4/24＞
- ④評議員会：2回＜5/23・3/27＞
- ⑤合同会議：1回＜7/25＞

2 各種事業の実施

- ①公開セミナーの開催＜葉業年金会館＞
・平成21年11月28日(土) 79名参加
「古代地名の語源を解く」仕田原 猛氏(高7回)
- ・平成22年2月27日(土) 32名参加
「包丁から考えた文明史」田中 陸之氏(高23回)
- ②会報の発行
・平成21年10月1日：16,700部
- ③文化講座・コース部の毎月定期開催
- ④創立110周年記念事業
・実行委員会：8回＜5/30・7/4・8/1・9/19・10/31
・12/19・3/13・4/10＞
- ⑤教育・文化等振興援助事業
・在校生支援、クラブ活動奨励

社団法人清友会 平成22年度収支予算書

(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

2. 支出の部		1. 収入の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
文化講座	1,500,000	基本財産運用収入	30,000
セミナー	400,000	新入会員会費収入	1,600,000
会報印刷費	1,700,000	文化講座会費	1,500,000
通信費	1,200,000	運用財産利息	1,000
教育・文化等振興援助費	1,700,000	その他雑収入	50,000
人件費	1,000,000	当期収入合計	3,181,000
総会費	300,000		
交通費	200,000		
通信費	300,000		
水道光熱費	40,000		
事務費	120,000		
転退職員記念品料	40,000		
新入会員記念品料	350,000		
備品費	100,000		
修繕費	100,000		
システム関連費用	200,000		
110周年記念事業費	200,000		
雑費	30,000		
予備費	300,000		
当期支出合計	9,780,000		
当期収支差額	△6,599,000		

社団法人清友会 平成22年度事業計画

1 総会の開催

- ①決算総会
平成22年6月19日(土)
場 所：ホテルグランヴィア大阪
- ②予算総会
平成23年4月23日(土)
場 所：済美館 3階

2 会報の発行(1回)

10月 発行予定

3 公開セミナーの開催(2回)

場 所：葉業年金会館

①平成22年11月27日(土)

②平成23年2月19日(土)

4 文化講座の継続開催

5 各種会議の開催

- ①理事会(原則毎月)
- ②評議員会(年2～3回)
- ③合同会議(平成22年7月24日<土>)

6 創立110周年記念事業

7 教育・文化等振興援助事業

- ・在校生支援、クラブ活動奨励
- ・在校生学力向上支援

監査報告書

私たちは平成21年5月1日から平成22年4月30日までの事業年度の業務執行状況、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成22年5月18日

社団法人 清友会 監事 白井淳二
社団法人 清友会 監事 松宮清隆

平成22年度 同窓清友会総会報告

総会報告

「同窓清友会」の第五回総会が、平成22年6月19日(土)に、大阪駅のホテルグランヴィア大阪にて、社団法人清友会の決算総会に引き続いて行われた。新入会員10名と委任状38名を含む217名の出席者があった。

本総会の議事録署名名人に、和田幹事・熊生代表が選任された。議案書に沿って、別掲の平成21年度の事業報告(案)並びに決算報告(案)が各担当幹事より提案され、その後、矢倉監事より監査報告がなされた。これを出席者に諮ったところ、拍手多数にて承認、可決された。引き続き平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)が提案され、こちらも同様に承認された。

懇親会報告

社団法人清友会総会及び同窓清友会総会終了後、ご来賓14名を含む198名(出席のもとで、懇親会が盛大に催された。高等女学校、並びに、高等学校の校歌を全員で斉唱し、南校長先生からご挨拶を賜り、乾杯の後に会食となった。宴もたけなわの頃、高21回生の榎田慎悟氏によるギター弾き語り披露された。引き続き、恒例の「皆で歌おう!」。中村佳世子姉(高31・ピアノ伴奏)の歌唱指導で大合唱。壇上では清友コーラス部員が皆をリード。拍手喝采のうちに懇親会を終了した。



演奏中の榎田氏

同窓清友会 平成21年度収支決算書 正味財産増減計算書

(平成21年5月1日から平成22年4月30日まで) (単位:円)

科 目	平成21年度
I. 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	4,188,000
② 事業収益	
観劇会	1,102,500
ゴルフ会	222,000
③ 会合費収入	1,130,000
④ 寄付金収入	5,000
⑤ 総会費収入	1,398,000
経常収益計	8,045,500
(2) 経常費用	
① 事業費	
観劇会	1,102,500
フェスタ清友	286,478
ゴルフ会	224,300
② 支部活動費	
東京支部	490,000
東海支部	70,000
③ 管理費	
会合費	1,157,139
総会費	1,398,000
雑費	2,415
経常費用計	4,730,832
当期経常増減額	3,314,668
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 雑収入	12,430
経常外収益計	12,430
当期経常外増減額	12,430
当期一般正味財産増減額	3,327,098
一般正味財産期首残高	19,559,811
一般正味財産期末残高	22,886,909
II. 正味財産期末残高	22,886,909

同窓清友会 貸借対照表

(平成22年4月30日現在) (単位:円)

科 目	平成21年度
I. 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	22,886,909
流動資産合計	22,886,909
資産合計	22,886,909
II. 正味財産の部	
正味財産	22,886,909
正味財産合計	22,886,909
負債及び正味財産合計	22,886,909

同窓清友会 平成21年度事業報告

- 総会と各種会議
 - 総会・懇親会:平成21年6月21日(日)
＜ホテルグランヴィア大阪:237名(委任状含)＞
 - 幹事会:9回＜5/23・7/11・9/12・10/10・11/14・1/16・3/6・3/27・4/24＞
 - 諮問委員会:2回＜5/23・3/27＞
 - 合同会議:1回＜7/25＞
- 各種事業の実施
 - 第5回フェスタ清友の開催:平成21年9月27日(日)
＜清水谷高校:139名＞
 - 新年互礼会の開催:平成22年1月24日(日)
＜ホテルグランヴィア大阪:114名＞
 - 観劇会の開催
・平成21年9月18日(金):62名参加 繁昌亭
・平成21年11月18日(水)41名参加 「反逆児」 松竹座
・平成22年3月17日(水)41名参加 「ガブリエル・チャンネル」 松竹座
 - ゴルフ会の開催
・平成21年10月21日(水):32名参加 ＜伏尾ゴルフ倶楽部＞
・平成22年4月21日(水):23名参加 ＜伏尾ゴルフ倶楽部＞
 - 東海支部総会
・平成21年6月28日(日)
 - 東京支部総会
・平成21年10月17日(土)
 - 創立110周年記念事業
・実行委員会:8回＜5/30・7/4・8/1・9/19・10/31・12/19・3/13・4/10＞

同窓清友会 平成22年度収支予算書

(平成22年5月1日から平成23年4月30日まで) (単位:円)

2. 支出の部		1. 収入の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
フェスタ清友支出	300,000	会 費 収 入	5,000,000
ゴルフ会支出	200,000	ゴルフ会収入	200,000
観劇会支出	1,400,000	観劇会収入	1,400,000
各種事業支援金支出	300,000	総 会 費	1,500,000
東京支部活動費	490,000	会 合 費	1,200,000
東海支部活動費	70,000	寄 付 金	100,000
総 会 費	1,500,000	雑 収 入	1,000
会 合 費	1,300,000	当 期 収 入 合 計	9,401,000
慶 弔 費	100,000		
雑 費	30,000		
予 備 費	100,000		
当 期 支 出 合 計	5,790,000		
当 期 収 支 差 額	3,611,000		

同窓清友会 平成22年度事業計画

- 総会(決算・予算)の開催
平成22年6月19日(土)
場所:ホテルグランヴィア大阪
- 懇親会の開催
平成22年6月19日(土)
場所:ホテルグランヴィア大阪
- 第6回フェスタ清友の開催
平成22年11月23日(火・祝)
場所:清水谷高校 各施設
- 新年互礼会の開催
平成23年1月23日(日)
場所:ホテルグランヴィア大阪
- 観劇会の開催(2回)
第1回:平成22年9月15日(水)
第2回:平成23年春
- ゴルフ会の開催(2回)
秋期:平成22年10月19日(火)
春期:平成23年4月13日(水)
- 各種会議の開催
 - 幹事会(原則毎月)
 - 諮問委員会(年2~3回)
 - 回生代表会(随時)
 - クラブ代表会(年4回)
 - 合同会議(平成22年7月24日(土))
- 支部総会
 - 東海支部:平成22年6月27日(日)
 - 東京支部:平成22年10月16日(土)
- 創立110周年記念事業
- 清友会各種事業支援事業

監査報告書

私たちは平成21年5月1日から平成22年4月30日までの事業年度の業務執行状況、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに関係諸帳票、証憑書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成22年5月18日

同窓 清友会 監事 矢倉裕章
同窓 清友会 監事 松宮清隆

在校生の活動報告



教頭 若林 智子

会員の皆さまにはお健やかにお過ごしのことと存じます。

私はこの4月に清水谷高校に教頭として着任しました若林です。どうぞよろしくお願いします。この伝統ある清水谷高校で教頭としての第一歩が踏み出せたことに日々感謝しております。

また、落ち着いた雰囲気の中で本校の教育活動がおこなわれています。ご支援のおかげと感謝いたしております。

部・ギター部・オーケストラアンサンブル部・合唱部は、梅雨空を吹き飛ばし、中庭での昼休み発表会をおこないました。ほとんどの生徒たちが、楠の木の下に集まったり、各階の窓から顔を出したりして、仲間間の発表を見守る光景は、和やかで微笑ましいものでした。また、6月は自治活動の大きな柱である「体育祭」もおこなわれました。真夏を思わせる天候の中、生徒たちは全ての競技にひたむきに参加し、仲間への応援に力を抜くこともなく、与えられた役割も立派に果たしてくれました。今年度からは新種目として、懐かし

が11名清水谷高校を訪問しました。9月10日から20日の期間、本校生徒宅や卒業生宅にホームステイし授業に参加しました。また、今年度は天満橋ロータリークラブとの連携を実現させ、8月25日から1年間、アメリカからの留学生の女子生徒が本校の2年生として生活しています。中学生の憧れ、清水谷生の誇りである「清水谷ブルー」の制服も着用しています。

《平成21年度～平成22年度前半の部活動記録》

- ◎陸上競技部
 - 第62回大阪高校陸上競技選手権大会 (H21.5.30) 男子八種競技 8位
 - 第65回大阪高校総合体育大会 (H21.8.21～23) 男子400mH 4位
 - 男子800m 5位
 - 男子3000mSC 7位
 - 第63回大阪高校陸上競技選手権大会 (H22.5.30) 男子400mH 7位
- ◎男子硬式テニス部
 - 平成21年度大阪高等学校 春季テニス大会 シングルス・ダブルス (H21.4.18) ともに本戦出場
 - 平成21年度第3学区テニストーナメント シングルス (H21.11.28) 本戦出場
 - 平成22年度大阪高校スプリングテニストーナメント シングルス (H22.4.3) 本戦出場
- ◎女子硬式テニス部
 - 平成21年度大阪高等学校 春季テニス大会 ダブルス (H21.4.18) 予選1位 本戦出場
 - 団体戦 (H21.5.8) 6年ぶり本戦出場
- ◎男子軟式テニス部
 - 大阪府公立高校研修大会個人戦 (H21.8) 中央大会進出
- ◎水泳部
 - 平成21年度 中央大会 (H21.6.26) 男子200m平泳ぎ 決勝進出
- ◎ラグビー部
 - 平成22年度 大阪総合体育大会 ラグビー10人の部 Cグループ 優勝
- ◎女子バドミントン部
 - 第3学区高等学校バドミントン北地区協議会
 - 女子シングルス1部/ダブルス1部 いずれも2位
 - 女子シングルス2部/ダブルス2部 いずれも優勝
- ◎卓球部
 - 第62回大阪高等学校卓球選手権大会男子学校対抗 (H21.5.3～) ベスト16入り
 - 第64回大阪高等学校総合体育大会男子学校対抗 (H21.10.25) ベスト16入り
 - 第63回大阪高等学校卓球選手権大会男子学校対抗 (H22.5.2～) ベスト16入り
- ◎ダンス部
 - 第4回若者ダンスカーニバル (H22.2.14) 2位(第1回より連続して上位入賞)
- ◎合唱部
 - 第91回全国高等学校野球選手権大会 開会式・閉会式 (H21.8.8・H21.8.21)
 - 第92回全国高等学校野球選手権大会 開会式・閉会式 (H22.8.7・H22.8.21)
 - 中国シンセン百合合唱団受け入れコンサート (H21.8.3 & 8.4)
 - 第64回関西合唱コンクール (H21.9.23) 高校Bグループ 銅賞
 - 中之島コーラスメッセ コンクール課題曲講習モデル団体として出場
- ◎華道部
 - 小原流学生いけばな競技会 (H21.7.25) 188名中 優秀賞2名、佳作4名が本校部員
- ◎箏曲部
 - 芸文祭 (H22.1.30)

本校生の部活動の記録の主だったものを掲載させて頂きました。日々学習との両立に励み、部活動での連帯感を学び、協調精神や礼儀を身につけた部員の活動は、必ずしも優勝や上位進出という結果にはつながっていないかもしれませんが、清水谷高校での部活動という「新たなものとの出会い」によって、今までの住み慣れた世界から、勇気を持って他の世界の扉を開けた生徒たちは、確実に成長していることと思います。遅しさと優しさを持ち合わせた後輩たちに会い、母校を訪ねて頂ける機会があれば嬉しく思います。また、いつまでも向学心を持ち、気品ある振る舞いで接して下さる先輩方と本校生との出会いは、本校生にとって「新たなものとの出会い」となり、彼らを成長させてくれるものと信じています。

創立110周年記念募金 中間状況のご報告

(平成22年6月末現在)

募金にご協力を!

記念募金 目標額 3,000万円!!

昨秋来、皆様をお願いしております110周年記念募金に対し、約950名の方から約910万円、学校の110周年積立金から300万円、合計約1210万円のご寄付を頂いています。皆様のご協力に感謝し、厚くお礼申し上げます。重ねて、済美館改修を含めた記念事業を成功させることが出来ますように、なお一層のご賛同をぜひお願い申し上げます。

創立110周年記念募金集計表 (中間報告)

平成22年6月30日まで

区分	人数	募金金額	区分	人数	募金金額	区分	人数	募金金額	区分	人数	募金金額
本26	1	2,000	高3	28	350,000	高24	3	13,000	高45	2	8,000
本27	3	8,000	高4	33	199,000	高25	3	30,000	高46	0	0
本28	0	0	高5	33	364,000	高26	9	54,000	高47	1	3,000
本29	4	23,000	高6	30	276,000	高27	4	26,000	高48	0	0
本30	2	13,000	高7	43	408,000	高28	7	27,000	高49	1	2,000
本31	1	2,000	高8	20	139,000	高29	7	37,000	高50	0	0
本32	4	39,000	高9	43	313,000	高30	6	20,000	高51	1	10,000
本33	3	17,000	高10	32	246,000	高31	4	27,000	高52	1	1,000
本34	6	40,000	高11	38	337,000	高32	2	6,000	高53	2	20,000
本35	5	18,000	高12	22	110,000	高33	4	35,000	高54	1	5,000
本36	6	47,000	高13	28	241,000	高34	3	16,000	高55	0	0
本37	10	346,000	高14	11	122,000	高35	0	0	高56	0	0
本38	14	99,000	高15	18	142,000	高36	4	28,000	高57	0	0
本39	7	49,000	高16	14	90,000	高37	4	15,000	高58	3	9,000
本40	16	161,000	高17	13	224,000	高38	1	3,000	高59	1	1,000
本41	33	205,000	高18	12	69,000	高39	2	3,000	高60	2	4,000
本42	26	625,000	高19	14	74,000	高40	4	27,000	高61	4	20,000
本43	47	663,000	高20	13	90,000	高41	0	0	高62	3	8,000
本44	44	448,000	高21	15	139,000	高42	2	8,000			
本45	26	158,000	高22	19	735,000	高43	2	15,000			
本46・高2	32	195,000	高23	18	179,000	高44	0	0			
									計	880	8,486,000

特別会員	15	323,000
学校110周年積立金より		3,000,000
学校(生徒・PTA)	50	151,240
その他		
カバの会(高10回)	1	27,016
高13回同窓会	1	100,000
PTAOB	3	18,000
総合計	950	12,105,256



創立110周年記念募金芳名録

平成22年6月末日以降にご寄付いただきました方々につきましては次号に掲載いたします。(敬称略)

本29回 妣田 圭子 (遺族様より)	本27回 青木 昭子	本26回 近藤 操	計3,158,000円 290名 本科	計151,240円 50名 学校(生徒PTA)	3,000,000円 学校110周年積立金より	行八 昭一郎 村上 幸治 南上 万理 寶田 康彦 淵上 芳孝 福留 勝弘 富山 啓一 富森 盛史 千葉 康孝 高岡 京孝 児玉 健郎 菊井 忠雄 掛谷 恒之 今田 忠克	計323,000円 15名 特別会員	
尾崎 公利 大槻 利子	本37回 森川 嘉根 花谷 和子 武井 博子 鈴木 美佐子 清水 幸代 大塚 和子	本36回 芳澤 成子 仲谷 邦子 田隅 タネ子 鷹岡 悦子 近藤 幸子 福井 直子	本35回 西出 幸子 土出 幸子 (遺族様より)	片山 梨英子 小田 千代子 井上 昌子	本34回 村上 可代 篁 初枝 近藤 鉦子 原田 美子 野呂 幸枝 蔦田 璋歌 清水 歌	本32回 南 文枝	本31回 坂本 博子	本30回 岡部 静子 宮澤 富美子 名村 公子 瀬戸 貞子 川口 結子
牧田 葉子 藤井 玉子 福光 よし子 中澤 敏子 長尾 美代子 佐用 淳子 小山 真佐子 後藤 由江子 北井 知子 沖野 多美子	本40回 三前 美智子 松家 武子 福田 秀子 額田 嘉代子 内海 幸子 岩田 郁子 井尻 正子	本39回 淀井 洋子 藪田 芳子 泰永 富代 前川 嘉壽江 堀畑 昌子 藤村 薫子 深田 貞子 原 甲子 橋尾 藤子 成子 豊子 中田 美子 高木 緑子 北村 有季子 加藤 千鶴子	本38回 匿名1名	村上 昌子 福島 純子 島田 豊子 桑田 光子 黒田 文子 工藤 美知子 河井 喜代子	本41回 匿名1名	青木 隆子 飯田 喜代 池田 俱子 石橋 照代 井上 亀江 岩川 文子 石見 洋子 大石 和子 加藤 禮子 金子 澄子 喜多 道子 喜多 道子 小林 菊枝 後藤 さと子 喜多 道子 金 澄子 加藤 禮子 大石 和子 石見 洋子 井上 亀江 岩川 文子 石橋 照代 飯田 喜代 池田 俱子 石橋 照代 井上 亀江 岩川 文子 石見 洋子 大石 和子 加藤 禮子 金子 澄子 喜多 道子	本42回 匿名1名	横尾 寿子 谷 淑子 水野 穎子 増田 和子 増井 泰子

創立110周年記念募金芳名録

石川千恵子 尾崎孝子 加来富美 勝田安子 國澤欣子 久保起仕江 窪田美智子 栗山光子 甲谷澄子 郡慶子 古閑久子 城口多嘉子 鈴木洋子 多河通子 武井千鶴子 武田美智子 田中明子 豊田芳子 西岡衣子 橋口博子 福井佳子 福田貴美子 星合茂登子 由良敦子 赤井美代子 阿部満智子 池永千鶴子 石川佐幾代 石田靖子 伊藤道子 伊藤喜久 今川多恵子 上田明子 太田澄子 大西佳代子 大橋悦子 大本美沙 岡本和子 奥村悠紀子 片上淑子 金田慰子

北川良子 木村文子 来馬溢子 小林鶴野 榊原悦子 澤希代子 篠崎光子 柴田佳代子 鈴木勝子 高橋久子 田中和子 玉井萬里子 中井文子 中山佐紀子 中山育枝 那須政子 布谷明子 沼部福子 林幸子 原田典子 穂藤悠紀子 本城智枝 松田富子 宮田禮子 武藤幸子 最上文子 茂木佐緒子 森元綾子 山崎典子 吉田美沙子 青木好子 石村房子 岩崎幸子 大田史子 柏井住子 勝田靖子 金森信子 北村茂子 木村節子 小竹春子 小西武子

小林和子 小林理子 権野美穂子 桜井佳子 下坂伸子 高橋和子 瀧本俊恵 田中千代子 田原節子 玉井登世 恒成和子 仲久保寿子 中島美子 中原秀子 西本幸子 平尾常子 平見弥栄子 藤本恭子 星野和子 正本節子 松井芳子 松浦信子 松名直子 松村明子 宮平美智子 森下博子 森田良子 毛呂幸 柳原澄子 山村知恵子 横田幸子 横田節子 米澤節子 石名1名 明石妙子 赤松叡子 石原公子 一海孝子 今井哲子 岩崎滋子 大久保キミ代 大野綾子

加藤保子 河島英子 河村喜代子 菊野ゆかり 及川喜久子 熊澤孝子 小林圭野 坂口昭子 城江美子 長野洋子 野崎弘子 野田知子 橋本用子 藤塚あい子 三木エツ子 山口恵子 湯本満寿美 吉田正子 阿部悠美子 沖喜芳子 小山田洋子 柏原愛子 神崎麗子 木村和子 國原まち子 湖崎醇子 小西満 小林みち子 小林芳子 坂本俊子 澤井綾子 鹿嶋重子 清水貞子 築部由紀美 筒井緑 寺島富貴 富島満智子 中島芳子 中村侃子 南條静緒 長谷川羊千

濱崎潤子 福西滋子 細川佳代子 御輿直代 三富富 森政子 山崎和子 匿名1名 高3回 計5,328,000円 590名 飯田弘一 石村幸彦 江住陽子 岡本健 亀田英明 川勝民雄 蒲原豊子 久保添知宏 酒井薫 白井淳二 進藤秀子 高田舜介 田中信子 丹下斐恵 辻志津子 中野嘉代子 日野邦子 藤川嘉子 藤野美也子 前田徹太郎 松宮昌子 三宅一郎 村上益子 森本昌子 安田千穂子 安田吉郎 山邊澄子 匿名1名

高4回 味岡洋子 池田康子 石原治子 妹背一代 大石邦夫 大井正寛 奥邨和夫 葛西美穂子 梶山和夫 木下雅義 木村一彦 木村カヨ子 清常禮子 阪口昭子 佐藤明子 島浦泉 志村和江 竹田佳津子 田中育子 田中紫枝 中須浩子 西村弘子 橋本義文 馬場喜代子 平尾昌子 馬詰登喜子 松本良子 真野育子 水谷範子 水野尉子 山口清 村口美子 山尾美子 和田伸子 伊藤光武 大西珠子 奥田武文 梶原三和子 國行教子 阪田弘 作田洋

高6回 澤田淑江 下山博子 白井嘉世子 白石怜子 田中健一 田中君子 辻伸弘志 中農弘志 西尾俊行 原田慎三 廣島潤之助 廣瀨邇 福家稔 榊田幸子 松井芳子 圓井謙三郎 宮崎文雄 宮前富子 村上雅子 室田英進 森田美佐子 安田静二郎 横地美江 吉岡重男 若林ヒデ 和田アイ子 浅野義博 池田朝子 稲田元子 井上芳子 打垣内恵子 大磯隆一 小田貴美子 川上幸子 川端裕子 小宮山美美子 三野雅代 塩川俊男 芝田立子 清水喜世子 瑞慶覧冴子

高7回 砂川玲子 田中襄二 中園弘子 中村陽子 中村京子 中村幸江 浜崎信子 平井茂子 堀辺治信 三堀朱美 宮澤朱美 安江貞夫 矢野和栄 横川和子 匿名1名 秋元誠太郎 浅見和子 阿部萬里子 新井信江 淡地英子 石橋晴子 井上裕二 岡本恭子 梶原みさを 川崎勝晤 橋田義弘 木下栄子 久保多恵子 窪田桂子 久保田治子 河野道雄 越原明子 齋藤秋子 阪井信夫 酒井重幸 坂口孝子 仕田原孝 篠田孝 酢谷和子 谷口耕也

高8回 谷利圭子 辻川成子 辻田澄恵 出水晴子 永田喜代 中辻勝行 中村喜久子 中村日出夫 南條圭子 檜原康男 正木良一 萬代武子 三浦勝茂 安井良子 山岡嘉男 山本眞佐代 若谷奈都子 猪子修身 植原正明 宇野隆子 宇野滋夫 岡島史郎 岡本壽子 岡田秀夫 加藤浩子 桑原浩治 城山みどり 武哲夫 竹井静子 竹中多恵子 寺内嘉一 西山毅 西山邦夫 松本貴美 松村寿一 百田雅子 森田雅子 八木徳子 森中美知子 山本誠人 吉田精二 東治江 井口孝子 池田満智子

高10回 出雲慶子 上村久忍子 宇野滯子 大浜宏介 大藤房子 岡田幸子 柿本房之 笠原多恵子 木内香与子 北森一巳 黒川万佐子 河野郁夫 左海靖子 阪口和代 阪口昌子 阪田貞子 宗田照子 武輪儀一 田中晴子 田中博子 谷博之 富永敏子 中川幸枝 中郷安浩 名和澄子 濱野泰三 平岡重道 廣瀬久子 福武京子 藤原寿一 細川恵美子 松川貴美 松本邦夫 松田雅子 八木徳子 森中美知子 山本誠人 吉田精二 池田基一郎 生駒明子

創立110周年記念募金芳名録

谷 八重子	谷 千里	杉本 陸美	敷地 宏一	近藤 徹	河合 良臣	折田 昭子	小川 歌乃子	岡部 和彦	大西 紀久子	海野 紀司雄	岩崎 美代子	五十嵐 伊津子	高11回 匿名1名	吉本 淳子	吉岡 道夫	山本 喜一郎	山本 勝見	森田 靖子	森田 勝彦	村田 明美	水谷 富美子	三木 克子	丸井 榮子	福田 幸子	林 秀朗	則枝 征克	中山 隆司	中内 正興	徳山 満里子	清水 義道	酒井 義淳	駒井 マチ子	柑本 進	栗山 憲	楠 伊津子	岡崎 民子	宇野 和泉	上野 興次	今田 憲吾	石田 秀樹			
服部 敬子	仲栄 成行	坪内 澄子	高野 康子	杉野 利彦	小林 璋子	川口 眞子	大矢 正子	大社 康男	宇井 和子	岩田 良子	岩尾 守久	石田 美代子	蘆田 容子	浅野 英雄	浅野 眞智子	青木 節子	高12回 匿名2名	和田 俊博	脇ノ谷 英利	吉岡 健二	矢倉 裕章	森竹 健	松本 好生	藤田 光雄	藤田 哲男	藤井 重紀	福島 昭子	福岡 正紀	正田 正紀	西村 美也子	西村 和子	西川 昭子	中村 龍二	中西 多嘉子	中井 公子	中 賢治	千葉 モト子	田村 喜紀	田丸 久江	田保 勝治			
高垣 忠一郎	下田 富昭	桐石 保美	北野 公造	海田 雅恵	板倉 圭子	井口 栄二郎	高14回 匿名1名	湯浅 富士郎	安井 泉	目崎 八郎	松村 和枝	布藤 里美	日置 英一	春田 美登子	野上 昭代	西田 光子	新美 啓之	中野 寛次	中辻 幸七	照屋 貞夫	田中 克彦	立花 幹夫	鈴木 芳光	藤 正次	藤田 泰正	北川 睦彦	北澤 由玖子	小山 泰正	藤田 哲夫	菊地 靖	奥谷 和弘	奥田 忠雄	岡野 葉子	大宮 誠	大宮 洋子	入野 恒弘	青木 洋子	高13回 匿名1名	路熊 駒三	山西 もと子	森本 隆幸	丸尾 桂子	藤田 隆子
江崎 正和	井上 恰美	秋山 正己	吉田 博子	山田 隆夫	八木 洋子	三浦 敦子	高17回 匿名1名	松宮 清隆	麻殖 生登喜子	福田 和子	立花 潤子	齋藤 善一	齋藤 阡子	木下 和子	岡田 尚美	大植 史朗	植村 本	高16回 匿名1名	山本 征二	村上 愷暢	堀井 隆昭	文 隆	原田 郁子	西村 洪平	十河 壽子	佐々木 マス子	作田 栄次	杉本 功	近藤 栄次	小島 喜代三	木本 忍	岡安 修身	井出 和津子	磯田 理	東 広	高15回 匿名1名	堀本 光昭	野口 洋二	田中 繁之	高城 昌信			
芝川 重博	井上 長範	伊藤 賢一	宮田 信雄	堀池 信雄	高城 賀津子	山海 明夫	高20回 匿名1名	澤井 新二	佐田 恵子	小林 由幸	高津 章史	小倉 八代子	岡田 誠	大西 歌野子	大西 教雄	岩永 良一	伊藤 はるみ	高19回 匿名1名	山本 美智子	矢島 恵子	森村 幸男	松本 陽子	藤本 保子	平林 勝司	稗田 祖秀	西岡 方子	中村 正司	中林 正司	直本 進	高18回 匿名1名	柳原 多枝子	長田 昇一	田野 ヒサ子	高桑 博司	杉本 末雄	佐藤 嘉泰	佐々木 和世	小池 憲彦	木戸 勝	大石 啓子			
富士 谷道夫	日根野 文三	橋本 高明	丹羽 裕子	中田 雅久	中田 和博	長岡 多美子	鳥井 敏孝	土岐 健三	黒松 健三	栗田 加代子	河田 光一	小川 佳秀	伊藤 恵美子	厚見 彰子	早稲田 哲夫	本井 啓治	宮本 順子	宮本 秀治	萬代 和道	原口 典子	西村 清美	成田 隆志	斉藤 敏美	小浦 茂	岸本 祥夫	川崎 泰英	榎田 慎悟	井上 福三郎	生田 末治	高21回 匿名1名	湯本 益美	藤井 和幸	橋本 隆子	橋本 悦雄	西口 純忠	中村 純友	塚本 青史	高井 美代子	澁川 洋子	柴田 千衣子			
中山 昭彦	立花 里加	渡辺 正治	湯谷 真美子	藤田 志津子	野村 重之	西岡 栄恵	富田 京子	鳥谷 治三	江原 豊	高26回 匿名1名	米田 茂夫	宮城 和昭	田畑 きよみ	田畑 修造	近藤 修造	中西 裕美子	高24回 匿名1名	山本 寿子	向井 容子	三輪 聡	松井 浩子	堀家 妙子	平林 典子	畑 佐代子	二野 純一	中村 純代	中野 和子	中島 裕子	佐野 美砂子	坂井 幸子	小林 裕子	海野 清春	今津 武治	東 加寿好	高23回 匿名1名	吉岡 雅之	横山 典子	森本 泰代					
八木 淳	松村 博幸	仲宗根 信成	和田 千春	松山 浩章	堤 和博	大森 登美代	末兼 恵理	高33回 匿名1名	高32回 匿名1名	栄森 朱美	三好 達二	中村 佳世子	杉本 恵美子	篠原 栄次	高31回 匿名1名	三河 純子	平山 大徹	瀧口 浩史	菅生 委久栄	井上 淳	五十川 昌恵	山口 俊雄	森 容子	田中 友輝子	鈴木 康友	北野 泰宏	川島 まり	金田 泰英	高29回 匿名1名	中才 敏之	富田 峰子	田辺 幸次郎	槐島 静治	神田 雅雄	岡 みさを	青砥 正壽	高28回 匿名1名	吉田 俊雄	山手 正史				
高54回 匿名1名	北田 裕一	高53回 匿名1名	谷 明子	高52回 匿名1名	渡邊 俊和	高51回 匿名1名	高49回 匿名1名	高47回 匿名1名	森口 千恵子	高45回 匿名1名	小倉 慶子	森本 浩隆	高43回 匿名1名	吉開 秀勝	木村 芳浩	高42回 匿名1名	喜多 秀典	西本 明生	国則 佳代	賀川 博子	小川 泰子	井上 薫	高40回 匿名1名	山岸 孝子	菱井 香代子	高39回 匿名1名	高38回 匿名1名	西牧 明子	長町 みゆき	美間 謙一	高61回 匿名1名	山本 佳奈	福田 洋平	柴田 昌典	村上 可枝	中嶋 謙治	神谷 泰子	岩垣 厚志	高36回 匿名1名				

お願い!!
誤字、脱字、
回生誤り等が
ありましたら恐
れ入ります事
務局へお申し
付け下さい。

PTAOB 計18,000円 浅田 勝 以西 あきみ 細川 佳子	高13回同窓会 100,000円 高10回 27,016円	カバの会 高62回 渡辺 夕貴	高58回 安部 奈緒美 以西 紋子 柴田 至
--	--	-----------------------	---------------------------------

公開セミナーのご案内

平成22年11月27日(土)

「ア・イ・ウ・エ・オ」と共に 就活・日本語講師・音訳」

高7回 齋藤 秋子



「話す」ことは大切だが、系統立てて学ぶのが難しい分野でもある。書店に並ぶ話し方入門の多くは、いわゆるハウツーものにとどまりがちだ。

雄弁・多弁と心地よい話しぶりとは必ずしも一致しない。豊田商事や昨今の「オレオレ詐欺」など、言葉を探る側に回ると、「話し上手」が善意と表裏一体をなさないので日常の生活体験から広く知られていることだ。音声としての言葉が人を結びつける温かいツールであってほしいと願いつつ、日々人々の話を聞いたり、用いたりしている者の一人である。

でもメリットのある大阪女子大学は、前身は府立女専で、公私立の中高の教員職に就く人の多いことも分かった。

しかし、昭和30年代も就職の厳しさは今日と大差なく、男女雇用機会均等法までに30余年を残していた。書道の有段者、俳句や短歌の名手、既に戯曲や小説を書き始めている人もいたが、卒業時の就職は約束されてはいない。

自分らしさの出る何かを求めて、「標準語講習会」(教委後援)に参加した。後に「共通語」と呼び替えられるが、市民のために開かれた「音声言語の学びの場」であった。小中高校の先生、役者志望の会社員など大勢の同期生。タレント学校の類は街にない時代のことだ。3ヵ月で初級1、2、中級1、2と進み、上に行くほど仲間が減っていくのも何か語学のコースに似ていた。講師は、元NHKのアナウンサーや俳優・声優、広告関係の会社役員だった。

「発音」と「アクセント」の矯正、自分自身との格闘が始まった。関西に民放TV4局開設の

見通しが明らかにになり、数少ない採用試験の機会を得た。お陰で短い期間だったが、テレビ放送の播覧期に局にいることができた。

フリー社会・CM 1964年～1977年 (財)国際日本研究所 日本語教室講師 1971年～2002年 大阪外国語大学 (日本語教育センター)非常勤講師 1986年～1990年 梅花中学・立命館大・浪速短大等の非常勤講師 1990年～2007年 浪速短期大学(現・大阪芸術大学短期大学部) 広報学科専任教員 2008年～2009年 大阪芸術大学非常勤講師 2010年4月～ 近鉄文化サロン講座講師

「健康」と「長寿」にも役立つのではと、今は感じている。

年金をもらえるのは老後に限ったことではありません。中でも、

現在、未加入・未納の状態です。障害事故が発生した無年金障害者が9万人、昔の年金制度不備のための無年金障害者が3万人と言われています。

老後の生活補償は、時間的に老齢年金を含める程度準備することができず、障害、死亡は年齢にかかわらず突然やってくる可能性があります。

年金は、もともと保険料支払いが長期間であることから、保険料を支払っている間に制度変更が何度も行なわれ、その都度既得権を設けて将来に向けての改正がされてきました。明治8年の軍人恩給から始まり、公務員共済、厚生年金・国民年金が開始され、加入者も軍人、公務員からサラリーマン、自営業者、失業者、フリーター、サラリーマンの妻、学生、外国人へと拡大されてきました。

年金制度は、社会保険制度の一つで他に健康保険・労災保険・雇用保険の各保険とあわせて社会保険と呼んでいます。

平成23年2月19日(土)

ねんきんと社会保険のお話し

高34回 仲宗根信成



年金をもらえるのは老後に限ったことではありません。中でも、

現在、未加入・未納の状態です。障害事故が発生した無年金障害者が9万人、昔の年金制度不備のための無年金障害者が3万人と言われています。

老後の生活補償は、時間的に老齢年金を含める程度準備することができず、障害、死亡は年齢にかかわらず突然やってくる可能性があります。

年金制度は、社会保険制度の一つで他に健康保険・労災保険・雇用保険の各保険とあわせて社会保険と呼んでいます。

年金をもらえるのは老後に限ったことではありません。中でも、

前年度の講演要旨(第28回公開セミナー)

古代地名の語源を解く(李寧熙説)

高7回 仕田原 猛



韓国の作家、李寧熙女史は、古代韓国語で三千語以上の日本語の語源を解いている。約

二百語は地名で、今回は、そのうち10語を紹介した。あすか(明日香・飛鳥)は、ア・ス・カで「最高の鉄処」の意。古代韓国語アは最高などを意味し、スは「鉄」の百済系の言葉。カは「処」を表す日韓共通語。アスカは砂鉄の採れる所に付けられた地名であった。

いかるが(斑鳩)はイツ・カル・ガで「継承、刀の地」。イツは「継承」を表し、カルは「刀」。イカルガの名が付く奈良斑鳩町、兵庫県太子町、四日市市南いるが町、但馬国何鹿郡は、いずれも刀に関係のある土地であった。

うずまさ(太秦)はウド
ウ・マツ・サで「上質の鉄受け」。ウドウは「受ける」を表す古語。マツは「上質の」を意味し、サは「鉄」を意味する新羅系の言葉。秦氏は織物で財をなしたと言われているが、京都盆地の上質の鉄を得て権力を持ったと推定される。

なばり(名張)はナバリで「出つ張り」。ナは「出る」。バルは「張る」。ナバリは大きく湾曲した名張川によって形成された出つ張りの地。から(唐・韓・辛)はガラで「鉄 磨きの国」。唐津市、韓国岳(宮崎県)、辛島(宇佐市)などがある。

かすが(春日)はガル・セ・ガルで「磨いて新しく耕す」。韓国語ガルは「磨く」「耕す」、セは「新しい」の意を表す。ガルセガルとは、「一年中使い古した鉄の農耕具を新しく磨き直して、来年の耕すのに備える」ことを意味する。耕すのが「春の日」であるから、春日と当て字した。

くだら(百濟)はク・ダラで「大きい地の国」。韓国語クナラ(大きい国)が、クダラになったわけではない。摂津国に百濟郡があった。しらぎ(新羅)はシラ・ギ

かも(加茂・賀茂)はガム・オで「鉄磨きすること(老)」「鉄作り」を指称した。地名カモは「和名抄」に記された郡名(6) 郷名(20)の中で、21か所が現在も名を残す。

こま(高麗)はゴム・アで「高句麗(人)」。高句麗人が多く居住する所に付けられた名。甲斐国には巨麻郡、河内国には巨麻郷があった。

平成22年2月27日(土)

「包丁から考えた文明史」

高23回 田中 睦之

現代生活において金属製品は、我々の周りに満ち溢れています。沢山の恩恵を私たちにその製品から受けています。そのなかで包丁ナイフの類は、人類道具で連綿と使われ続け 原型を保持している利器(手で使う道具)のひとつです。

仕留めていました。その皮を剥がしたり、硬い木の実を砕くために 一方のへりを薄くそぎ、残りのへりを握りやすくふくらみをもたせた石器や石斧が、包丁の原型といえます。今のところ人類が使った最古の石器とされるものは、1960年にアフリカのタングザニアで発見された180万年前の打製石器です。

人類の祖先である彼らは、発見者のリーキー博士からホモ・ハビリス(道具を使う人)と名付けられました。人と他の動物との区別は利器(手で使う道具)をつくり また使用することにあります。手で柄を握って刃で切り裂く、ナイフ・包丁類は古代文明どこにも存在していましたし、おそらく人類の科学技術がこの先どんなに、発展していったとしても刃物は欠かせない道具として存在し続けるでしょう。

日本列島における人口推移は、紀元前6000年頃から耕地面積が広まる紀元後1〜2世紀まで数万人から数十万人規模で推移したと推定されています。しかしその後は鉄をはじめとする金属農具を活用し、山林を切り開き田畑を開墾することにより人口は100倍規模に増えました。戦火が完全に収まった江戸期では海外からの食糧輸入がないにもかかわらず、3000万人程度が自給自足で生活しています。このことから



にとつていかに大きい意味を持つているか類推できると思っています。世界的にみても同様で、文明文化の発展も、食糧生産量拡大が人口増大に付随しています。

日本料理 和食文化は、四季と山海に恵まれた自然と島国である特異性から独自の発展を遂げました。新鮮な生の魚介類を食卓に提供するためには 生の魚を上手に捌く切れ味の良い片刃包丁が必要になりました。そのため使う刺身包丁や出刃包丁は元禄時代から、ほぼ現在使われている形と変わりがありません。明治の開国以降 肉料理をメインとした西洋料理が広まりました。今日では、日本においても世界中の多くの料理が楽しめる。そして和食だけにとどまらず 洋食 中華においても日本で作られた包丁が使われるようになっていきます。それは日本国内にとどまらず 海外においても我が国の製鋼メーカーの素材を使い熟練した刃物職人の作りだすメイドインジャパン包丁が高い評価を得ています。

一般家庭で普通に使われる場合、優良な材質でつくられる正しい手入れをした包丁の使用耐久年数は平均しますと20〜30年です。一本買えば長い間料理道具の裏方として働き続けます。

日常生活にかかせない料理道具 包丁についての考察をセミナーでしゃべらせて頂きました。

(文字厨器株式会社 代表取締役)

清友幼稚園だより

学校法人清友学園
清友幼稚園
園長 向井容子(高23回)



2、おなじ つくえに 仲よく ならび 先生のお話し よくよく 聞いて 私は よい子よすなおな 子ども 楽しく おへやで おけいこしましょう みんなの 清友幼稚園

今回は清友幼稚園の園歌をご紹介します。
作詞 赤羽吉子(*1)
作曲 永井幸次(*2)
1、ここにこの橋を 元気がわたり 先生おはよう 皆さん おはよう 今日も 一日 仲よくこよし 楽しんでみましょう みんなの 清友幼稚園

*1 赤羽吉子 昭和16年に清友学園高等女学校が開校され、その後昭和21年にその実習園として清友幼稚園が設立された。昭和32年に高等学校を八尾市に委譲したが、その際、幼稚園を残し、理事役員を清友会員のみとして、園舎も増築して学園再建に努められた。その折の理事長として赤羽氏は活躍された。

*2 永井幸次 大阪府立清水谷高等女学校音楽教師として、長く在職されたが、清友学園設立に当たり、教員としてまた評議員として、学園の振興に力を尽くされた。その後、現大阪音楽大学の前身である大阪音楽学校を開校、校長となられた。

清水谷高等女学校創立40周年記念事業として、同窓清友会が設立した「清友学園」ですが、現在は幼稚園経営のみとなっております。その幼稚園も「幼保一体化」の激しい波に呑み込まれてしまわないように、同窓生で構成する理事会と教職員が一丸となって、明日を担う、より良い子ども達を培うために頑張っております。同窓の皆様方のご支援をお願いいたします。

清友会所蔵

卒業生刊行書籍・手記紹介(今回寄贈分)

貸出もしております
お問い合わせは清友会事務局まで

- ☆ヨーロッパ「ケルト」紀行 上巻 島編 高25 武部 好伸
- ☆ヨーロッパ「ケルト」紀行 下巻 大陸編 高25 武部 好伸
- ☆戦時下を駆け抜けた16歳の証 本43 宮田 禮



回生だより 1

みのり会

本40回 本田 博子

去年から満85才以上を超高齢者と云うことになったとか。私達は、大正14年(1925)生まれ、今年その仲間入りをする。平均余命8年。

何時迄戴ける生命かわからないが、感謝して一日一日を大切に、出来るだけまわりに御迷惑をかけるないように努力して生きたいと願う。

昭和16年。私達が4年生の時、清水谷創立40周年を祝った。来年110周年を迎える。その間70年の教育のおかげで、戦中、戦後の大変な時代で一生懸命生き続け、無事今日があることは感慨無量。

校門から坂を登り、済美館。大村先生の胸像、校舎は新しくなっても、桶の太木も、昔のまゝのところ、そのまゝ、母校があることは本当に有難くなつかしいことである。

卒業60周年の学年会をしてから、引き続き、今年全体で有志の同窓会を3月「弥生の会」。10月「神無の月」をしている。各クラスは独自。

逢って会食、近況報告でなつかしむだけで勿論のだから、お互いにそれなりのライフワークや、他の人と違った体験もあつただろうから、その話

を聞きあおう。現役活躍中の人もあり、参考になることもあるだろう。その上声を出して若返るように、その時々、ふさわしい歌唱指導をして頂き、最後に学校時代うたった「おひな祭り」の歌や「幸の歌」等を心をこめてうたい、娘時代にかえり、最後「校歌」で元気を頂いて散会する。米寿迄と

去年秋の「神無の会」は岩橋千賀子さんの不思議な体験のお話から、御家族全部でその道の修業をしておられることを伺い、大変な御努力に敬服。帰ってから、一人で楽しんだ。夫と漢字を思い出した。孫と一緒に数えあつた等。皆さんそれぞれに活用。

「河東けい」(西川紫洲江)さん、NHKの連続テレビ小説「ウエルカム」に90才のおばあさん役で出演。現役で活躍を毎朝と昼テレビで楽しんだ。重厚な演技はさすが！

今年3月3日「弥生の会」は、ホテルのご厚意で「お白酒」で乾盃。蛤のお吸物にはじまり、ひなまつりの御馳走に、ひなずし、菱餅、等。おみやげは「ひなあられ」を用意した。

お話は和田淑子さん。華道小原流の重鎮として現在も活躍中。小原流の中で資格取得のためのペーパーテストの勉強に清水谷時代を思い出して、高得点を80才迄とり続けたということや、技術面での研鑽。各流派

の特色や、時代と共に移り変わったことなど奥の深いお話。現在も地元でも活躍。今年小原流100年の大会にも出品するとのこと感心して声援を送った。

今年秋の会には長年、手編み。まくら編。ステンドグラス等々の手芸の面で高度の技術を次々クリアして、遠い地方に迄指導に行っておられる、尾高久美子さんにお話と、来年の干支にちなんだ来春飾れる作品を教えてください。予定で楽しみにしている。

毎回お土産として、高齢者に必要な情報。(介護保険や認知症、病気の予防。終のすみか、など)や脳トレのパズルなど用意。帰ってから、一人で楽しんだ。夫と漢字を思い出した。孫と一緒に数えあつた等。皆さんそれぞれに活用。

だんだん出にくくなつてくる中、その日にむけて体調を整え、御家族にも御協力頂いて、出席を楽しみに努力しています。(毎回出席17人前後)

110周年記念式典にも一人でも多く出席出来るよう祈っています。

1944年大阪の名門清水谷女子高等女学校(現府立清水谷高校)を卒業した第41回生をつくる伝統ある「八潮会」は本年大阪で5月20日東京支部16日と五月晴に恵まれほぼ同時期に開催されました。

大阪は日航ホテル「白鳳の間」で卒業66周年の記念すべき日約30名の方が参加され晴れやかに再会を喜びました。一人でも多くの方の参加をとお祈りし、永年わたりの会の継続と母校への愛校精神で献身と幹事代表を務めて下さいます。賑やかに話に花が咲きあちこちに笑いが絶えません。

待ちかねたようになつた顔が集まりました。会のはじめに昨年中に亡くなられた方への黙祷をします。年を追うてその人数がふえていくのが切ないです。でもご出席の皆様は元氣者ばかり。賑やかに話に花が咲きあちこちに笑いが絶えません。

女学校時代は戦争まつりの中という私達は、その代わり何にも代えがたない経験が余儀なくされま

が、何ものにも負けない根性をつちかうことが出来ました。今はもうネガティブなことは気前よくスルーし、いつまでも人生上り坂の心境で、ますます色んなことに挑戦し、楽しんでいきたいと願っております。

最後になつかしい校歌と四季のうたを歌って会を締めました。

来年はことし以上の方々にお集まり頂きたいと期待しております。今回世話人 北川、来馬、赤井、本城 種谷

初めに紫苑会会長の生駒さんから御挨拶を戴き料理長の心盡しのフレンチを楽しみながら、現在ボランティア活動をしていらっしゃる方のお話を毎年宿泊旅行のお世話をして頂いている生田さんから今年の予定等を伺いました。

昨年この会より姿をお見せにならなくなった方々の御消息ももれ伺い、和やかな中にも一抹の寂しさを覚えました。

写真室で二組に分かれて記念撮影し、当日出来上がった写真を持ち帰りながめながら今、ひとたび一人一人を旧姓で、お呼びかけ致しました。戦中、学徒動員を経験し、満足な学生生活を得られなかった私達でしたが、それだけ一層、この学年同窓の絆が深く濃い様にも思っています。

前者は鑑真和上が幾多の困難を乗り越え、中国から渡来する経道、後者は秀吉に託びないまま切腹の道を選んだ利休の心理を、詫びさえずれば許されたらう利休の最後とあの思いを繰り返して語ります。また野上弥生子の「秀吉と利休」「李陵」背教者ユリアヌス」等を読む時、主人公の生き様に心を揺るがされる。

また音楽ではモーツァルトを聴くと心が満たされて、他への愛が拡がる思いを実感する。私は人の哀れを、生きることの辛さを文学と実生活で知った。

専門知識や技術は生きてゆくのに必要な「実用」の学問にはあるが、心を豊かにするのは文学だ。自分の心が満たれば優しさが他へ流れる筈である。現在私は入院中であるが、

で解説ボランティアをつとめていた。尾張藩といふのは紀州、水戸と並ぶ御三家の筆頭、初代は家康の七男義直公である。ここには武器道具、刀剣、女性の十二単衣類、中国朝鮮の絵画、陶器類、源氏物語の国宝絵巻、利休の茶約「泪」等があり、春には豪華な雛祭が催される。私は見物客により解説をするため、あらゆる類の勉強を続けた。源氏物語を読み始めたのもこの縁である。科学や技術万能のこの時代にこそ文学は必要であり、井上靖の代表作「天平の甕」と「本坊坊遺文」は、まさに時間を忘れる思いを味わった。

八潮会

本41回 若森 郁子

1944年大阪の名門清水谷女子高等女学校(現府立清水谷高校)を卒業した第41回生をつくる伝統ある「八潮会」は本年大阪で5月20日東京支部16日と五月晴に恵まれほぼ同時期に開催されました。

不順だった今年の気候で、春先も寒暖のくり返りでしたが、やっと青空の広がった5月の一日を

待ちかねたようになつた顔が集まりました。会のはじめに昨年中に亡くなられた方への黙祷をします。年を追うてその人数がふえていくのが切ないです。でもご出席の皆様は元氣者ばかり。賑やかに話に花が咲きあちこちに笑いが絶えません。

紫苑会

本44回 榎野美穂子

春爛漫の4月5日、私達44期生の同窓会がホテル阪急インターナショナル、レストラン「マルメゾン」で開催されました。参加者54名。25Fの窓辺から差し込んだ陽光が明るく華やかに、皆様方を輝かせてくれ、とても八十路を越えた方達の集まりとは思えないくらいでした。

私は昭和7年生まれ、19年女学校入学の卒業生である。卒業後、男生徒ばかりであった阪大文学部に入学し、英文科を専攻した。卒業後暫くは高校の教師をしていたが、西洋古典(グレート・ラテン)専攻の夫が名古屋大学に招かれたので転居し、以来一昨年までの25年間を徳川美術館

で解説ボランティアをつとめていた。尾張藩といふのは紀州、水戸と並ぶ御三家の筆頭、初代は家康の七男義直公である。ここには武器道具、刀剣、女性の十二単衣類、中国朝鮮の絵画、陶器類、源氏物語の国宝絵巻、利休の茶約「泪」等があり、春には豪華な雛祭が催される。私は見物客により解説をするため、あらゆる類の勉強を続けた。源氏物語を読み始めたのもこの縁である。科学や技術万能のこの時代にこそ文学は必要であり、井上靖の代表作「天平の甕」と「本坊坊遺文」は、まさに時間を忘れる思いを味わった。

短歌をつくり、龍之介、漱石を読み、クラシック音楽を楽しんでいる。夫は毎日8時間机に向かい、微小な横文字に目を凝らす生活であるが、目的を持って生きている者の強さに畏敬を抱いている。

幻の同窓会

高5回 原田 慎三

小学校の同窓会は私共には最初から存在しなかった。国民学校四年生で集団疎開や縁故疎開でそれぞれに別れていった。敗戦の五年生の夏には既に母校は戦災で廃校となっていた。集団疎開の私もそれぞれ散った。四十歳になった或る日、自分の勤務地に任んでいた私の元に一通の手紙が来た。「昭和十六年清瀧国民学校入学の皆さんの同窓会が開かれます。私はこの事を新聞の広告で知りまし

なくなくなった。今一度何らかの手掛りを得たいと思うが思うに任せない。疎開以前の友達、集団疎開で共に苦難を耐えた仲間達、物忘れが激しくなった今も在り在りと彼等の懐かし顔を思い出せる。鬼籍に入る通過儀礼でも良いから今一度逢つてみたい。

高6回同期会のご案内

高6回 安江 貞夫

二年ごとに開催している同期会、来年春の開催となつて参りました。日時平成23年3月13日(日) 12時～15時 場所 ホテル・アウリーナ (上本町7丁目) までは決まっています。今回はB組、C組が当番です。詳しくは追つてご連絡いたしますが、今から予定に入れて置いてください。

23年は母校110周年記念年度と重なり、皆様には清友会からもお願いを申し上げますが、よろしくお願ひします。

鳥取に清水谷あり

高7回 和田 安藏

時の流れに身をよせて、卒業して早や52年、鳥取に転勤(三洋電機)、住みつくこと40年、人生の大半をこの地で、終焉を迎えることになると思います。清水谷の思い出は、良きこと悪しきことかかずあれど、今はなつかしさで一杯です。鳥取と云えば、四季折

風薫る蒜山高原へ

高7回 吉川 雅章

爽やかな五月晴れの朝、梅田を貸切バスで出発、車内はわいわいがやがや

々、季節のうつり変わりがハッキリしておるところです。今は雪が降ったり、やんだり、又カニのおいしいシーズンでもあります。私は唯一誇りに思っており、私を介したと思ひ一筆いたしました。それは鳥取市内にある県立「わらべ館」のことで、その中には尋常小学校(木造)の音楽教室が再現されており、そこには鳥取出身の大音楽家の名が残されており、童謡で有名な「ふるさと」「春の小川」の作曲家故人岡野貞一、「大こくさま」「きんたろう」の故人田村虎藏、「五一じいさん」「ささ舟」の故人永井幸次(現大阪音楽大学創設者)が紹介されております。この永井先生こそ、明治時代に大阪府立清水谷高等女学校で教壇に立ち、日本で初めてドレミファ唱法による音楽を広めたと伝えられております。唯一鳥取で我が母校の名が記されておること、誇りを感じ、心のささえとしております。



とまるで小学生の遠足のような賑やかさ、歓談するうちにバスは早くも中国自動車道に入り六甲の山並みを縫いながら一路西へと進む。米子自動車道に入ると山々の新緑が一層眼に染みる。やがて車窓右側に蒜山三座の優雅な稜線が描く壮大なパノラマ。バスはゆつくりと青葉のトンネルを通り抜けて広大な蒜山高原キヤンプ場に到着した。木々の若葉が実に美しい。三々五々にブナの原生林の中を散策しながら蕨や蓬をたくさん摘む仲間も。宿泊は「休暇村蒜山高原」。夜は楽しい宴に続いてカラオケ、幹事部屋で二次会。高校時代の夢多き青春の日々に思いを馳せ深夜まで語り合った。

高7回 吉川 雅章 爽やかな五月晴れの朝、梅田を貸切バスで出発、車内はわいわいがやがや

「卒業式が終わったら、清友会室へ行きなさい」と須見先生に言われて作法室の手前であった清友室に赴く。阪田さんが先に来ていて、小走りで行く。見先生が来られ、岸田先生に引き継がれ、部屋の奥に居られた着物姿の一回生の大久保さん、松井さん、河崎さんを紹介された。私たち二人が清友会と出会った一瞬だった。

たかが同窓会

高9回 森田 勉

「卒業式が終わったら、清友会室へ行きなさい」と須見先生に言われて作法室の手前であった清友室に赴く。阪田さんが先に来ていて、小走りで行く。見先生が来られ、岸田先生に引き継がれ、部屋の奥に居られた着物姿の一回生の大久保さん、松井さん、河崎さんを紹介された。私たち二人が清友会と出会った一瞬だった。

早速「同窓会」を開催し、を頂いた。感慨一人のひとはの助言もあり、5月とときだった。明けて60周年行事が母校で開催され、司会の大役を仰せつかり、大賀さん、吉田さんから賛辞を受ける。70周年は学園紛争で参加しなかったが80、90周年は生駒先生から協力の要請もあつて多数の9回生がホテルを賑わし大輪の花を咲かせてもらった。特に会議があるたび、塚本さん、大中さん、金田さんにはいろいろと美味いお菓子を頂き、楽しみの一つでもあつた。あつた。今一つの夏の風物詩は野球の大阪予選であり、3年時の準優勝した思い出は9回生の絆となつてい



回生だより 2

「カバの会」のこと

高10回 村田 明美

この一風変わった会名は、2007年5月16日、80才でお亡くなりになった平井博之先生のあだ名に由来します。私達10回生は、3年間、平井先生に担任していただきました。まだ30代前半で生徒のお兄さんの存在としてなにかと面倒を見てくださいました。2年の夏休みには、六甲山へ飯盒炊さんに行ったり、修学旅行の夜には「愛染かつら」のあて振りを見せて下さり皆で大乱舞したり…懐かしい思い出がたくさんあります。進路の相談にも親身になって乗って下さいました。月日は流れて1980年誰いうをなく第一回目の同窓会が開かれました。以来2・3年に一度、先生を囲んで集まり、気がつけば担任クラスを、はみ出して、会員80余名の大所帯になっていました。

先生を最後にお迎えたのが2004年「もうこれが最後やと思うで…」のお言葉通り、2007年秋には追悼会をもつことになってしまいました。そして2009年春の奈良旅行を区切りとして「カバの会」は解散するに至りました。昨年来有志が集まって通信費の残金(2万7千16円)の処理について相談しました。結

果として会員各位への解散の連絡費に使うより、来年の清水谷110周年記念事業に寄付することを決めました。僅かですが後輩のために役立ててくれれば…の思いです。5月31日、清水谷110周年記念募金委員会宛送金致しました。清友の紙面をお借りして「カバの会」解散のお知らせと残金の使途についてご連絡致します。

東期会の活動

高10回 岡本 和夫

このからは学年全体で集う「清水谷10期会」でお会いしましょう。

つたのですが、総会終了後には出席者全員の集合写真を撮るなど落ち着いた楽しい雰囲気でした。9月23日は、畑作業でいつも眺めている八ヶ岳の一つ、硫黄岳に試験的に登山をしました。5名(初心者2名ベテラン3名)が登ることで、次にまたどこまで登れるか?と挑戦をしてみました。標高2700mの山ですが、後残り300m位のところで雨と風とガスが掛かり頂上までの登山は断念し早めに山小屋にもどりました。ゆつくりと、無理することなく登ればできると素人の私自身が確認出来ました。又今年も挑戦か???

10月末には例年通り「蓼科浪漫倶楽部」の収穫祭(いも煮会)を開催し東西の同期が菜園に集まりました。畑ではサツマイモ、ジャガイモを時間をかけて掘り上げ大収穫に皆は子供に返ったように大喜びでした。掘りたてのお芋は、その場で焼きイモに、バーベキューでは、鮭(60cm)のチャンチャン焼き、芋煮鍋と盛り沢山でしたが、皆さん食欲が旺盛でした。翌日はゴルフと散策組に分かれ秋の紅葉の中でそれぞれに楽しいひと時を過ごしました。夕方からガーデン宴会が始まり宴たけなわになり、皆さんの懐かしいファイヤーストームを思い出し薪を囲んで肩を組み合い大声をあげて夜遅くまで歌が尽きる事はありませんでした。

「青春の思い出」がここに甦った若き歌声でした。又来年も集まろうと誓い合いました。

2010年2月2日横浜の変貌ぶりを見て見ようとして横濱の港の見える丘(景色が変わって港はビルの中に隠れるように)から山下公園を散歩、赤い靴の銅像、大棧橋(素晴らしい公園に変身して)そして馬車通りを歩き宴会のドック跡のレストランに集合しました。出席者が13名と例年になく少なかったですが大いに盛り上がりました。しかし、色々障害が出てきていた年代でもあり、元気でいる事が何より大切だと思ひ知らされました。

古稀の旅

高11回 寺西 猛男

本格的に歩き始めたのは還暦を過ぎてからだ。手始めに四国八十八ヶ所の遍路。一番・霊山寺(徳島県)から高知県、愛媛県を経て八十八番・大窪寺(香川県)へ。再び一番に戻る四国一周に43日間かかった。

「四国に入ったら一切、交通機関は使わない」と決めていた。重いリュックを背負って、ひたすら一人歩き一ヵ月半。地元の人々の暖かい心に、疲れ切った体が癒された。昼食に入ったタコ焼き屋のおばあさんには、帰り際にジュースやミカンを頂いた。コンビニの前で買ったばかりのパンを差し出してくれた老婦人。山中の道端に座り込んでいたら、車を止め「頑張ってください」と菓子を渡してくれたお寺さん。四国に根づいて「お接待」を数えあげればきりがない。

寺の境内でお年寄りから地元の話も聞くのも、楽しみの一つだ。

信州・小諸の禅寺へは「同じ行くなら電車やバスでは芸がないね」と京・三条大橋から中山道を二週間。座禅はそこそこに、若き住職と夜を徹して酒を酌み交わす。

焼きサバが食べたくなったら、京・出町柳から雪の降る鯖街道を若狭・小浜まで三日がかり。スキンヘッドに顎髭、菅笠に金剛杖の風体によく「お坊さんですか?」と聞かれることがある。そんな時は小さな声で「破戒僧です」と答えることにしている。

酒も飲みます、煙草も喫います、競馬も女性も…。今や「人生七十古来稀」(杜甫)の時代ではない。この夏に七十歳になったが、歩き旅はまだまだ続く。「歩くこと」が「修行」になっている私にとって、「冥土への旅」は当分、無縁になりそうだ。

分け入っても分け入っても

青い山(山頭火)

高13回だより

高13回 吉永 洋輔

昭和17、18年生まれ、67、68歳のわれわれ高13回生ですが、有志によるゴルフ会を年に5、6回実施し、親睦と健康維持を図っています。

今年2月には沖縄の琉球ゴルフ倶楽部で2泊3日2ラウンドのプレーを楽しみました。出席者は女性4名、男性9名。

2日間とも小雨が時々降る空模様の下、南国情緒漂う広々としたコースでナイスショットやラチヨロや一喜一憂しながらラウンド。ゴルフ終了後には、ひめゆりの塔、平和祈念公園、首里城などを見学しました。基地問題で揺れる現地に行つて離れていては分かりにくい緊迫感を少し肌で感じ、夜には沖縄料理や民俗芸能を堪能しました。

同期生の中には健康に恵まれない方もいらつしやるかもしれないが、一緒に楽しんでみようという方はぜひ仲間に加わっていただければと希望しています。

◎会計について
これまで皆さんから通信料としていただいた金額と同窓会実施時の残金(計190,224円)について、クラス代表の方々に意見をお聞きし、当面の使途として、うち10万円を清水谷創立110周年記念寄付金として清友会に寄付することとしましたのでご了承をお願いします。なお、会計担当が長年担当いただいた岩本冨子さんから新美啓之君に交代しました。

◎「卒業50年の同期会」
日程 11月28日(日) 19日(月)
4時集合
場所 箕面観光ホテル他
問い合わせは、
090-8825-7074 新美まで

清朋会

高14回 西尾美智恵

青春の思い出を共有した年1回の清朋会の集りも早や24回となりました。例年の如く天王寺都ホテルで梅雨空のもと35名の参加がありました。毎回

欠かさず出席して下さい。八木先生はご都合で欠席、大きな空席となりました。人生一生が勉強とお年を召されてから一日とて学習を疎かにされずより高きを目指されている先生のお話を伺うのを楽しみにしてあります。今年初参加のA組の木村幸子さんがお土産話を携えて登場。今年の秋から始まるNHK朝の連続テレビ小説「てっぺん」で、木村さんのお店がモデルになったとの事。木村さんの記憶はなかったのですが、話すうちに、学生時代の木村さんが見えてきました。底抜けに明るい大阪のおぼちゃん、キラキラターがスタッフに気に入られた様子で「ドラマではちよいと顔を出さずから皆さん是非観て下さい」とすっかりお店の宣伝もなさっていました。

同窓会

高17回 小池 憲彦



雀達のさえずりで目を覚まして、朝刊に眼を通しながらふとペランダに眼をやるとアジサイの葉のミドリミズミズさのほんの少し心を奪われて眠気から解かれてしまい、昨日のことがまるでスライドショーを見ているような錯覚の世界に瞬間陥ってしまった。しかし、同窓会というものは決してタイムマシーンではない。卒業後45年も経過すれば記憶も萎えてしまった部分も多分僅かでは無いであらう。あの頃彼女はなげを好きになつてしまつたのだらうか？なぜ君達は喧嘩腰で議論に夢中になつたのだらうか？なぜ人間不信になつて逝き急いだ彼がいたのだ？なぜあんなにまで笑える事象があつたのだらうか？そんな事等大きな記憶の風溜りの隅っこに存在し続けているのだらうか？人はその存在を継続し続ける限り、錆も出し、澱も垂れ流し、不活性な残物や忘れ物を気づかず

にしていることを云わば十字架として背負っている。でも、あの場面では屈託の無い笑顔で昔の出来事を懐かしく語り合っている。そんな、おかしくもあり不思議でもある光景がこの同窓会という魔物の中に存在している。

昨年の6月末に、予定会場の帝國ホテル大阪に各クラス幹事達が集まつて第一回目の予備会議を開いて準備をスタートさせ、途中2回の幹事全体会議を設け企画を育てて行き、途中各担当のメンバーたちと幾度となく連絡を取り合つて、昨日の17期生同窓会は盛會裏の内に賑やかにその幕は閉ざされた。次回の開催を4年後にするという余韻を響かせながら。

4月5日に往復はがきの案内状を投函して回答ハガキに寄せられた近況コメントを回答順に原文通りに参加者の人達にも読んでもらおうとエクセルファイルに毎夜整理するのを楽しみにして行つた。それと同時に毎日の回答状況をPCのインターネット環境を持つている仲間たちには一週間ごとに知らせてあげることにした。どんな気持ちでそれを見ていくれたかはこちらからは計り知れないが、まだ参加を揺らいでいる仲間たちへのエールになればとも思つた。近況コメント集を読みながら、参加してくれた仲間たちが参加できなかった旧友達と旧交を温めなかつた別の機会の際機になれば良

いのだが。

高29回3年E組 塩見学級

「塩見先生お祝い会」開催しました！

高29回 池田 孝



去る5月16日(日)高29回3年E組が集まり、「塩見先生お祝い会」を開催しました。

塩見先生は、20回清水谷高校出身で、私達が教諭になられて最初の卒業生でした。私達は18歳の時、塩見先生は27歳、年の差わずか9歳、一緒に記念撮影をしても、誰が先生なのかわからないようなクラスでした。

さらに当時は「マッシュルームカット」というへんてこな髪形をされておられ、とても「威厳のある先生」という感じではありませんでした。

その塩見先生が何と「還暦」を迎えられるということになり、クラスみんなで「お祝い会」を開催することにしました。

2年前の「学年同窓会」の時には、出席者は少な

かったのですが、今回は何と27名の出席を得て、特別ゲストとして(24回卒)塩見先生夫人にもご出席頂き、梅田阪急ターミナルビルにて、開催致しました。

当日は、プロジェクトで「懐かしの清水谷の画像」や、先生、学級委員の挨拶、記念品贈呈、奥様手作りクッキーをお土産に頂き、大いに盛り上がり、あつという間の3時間でした。塩見先生は、これからは教師を続けられるという事なので、一同さらなるご活躍を祈念いたしました。

でも、久しぶりに会つた男性陣の中では、塩見先生が一番若々しかったと、みんな思っていました。

高30回2年A組 同窓会

高30回 岩井 宏之



昭和50年に清水谷に入りました第30回生です。そのうち2クラスは、男子30人、女子15人の変則クラスになっていました。

昭和50年に清水谷に入りました第30回生です。そのうち2クラスは、男子30人、女子15人の変則クラスになっていました。

2年生のときそのうちの1つに在籍していました。変則クラスに割り当てられた男子は、必ず女子の少なさに不平を申しました。しかし体育祭や文化祭などの行事のとき、男子は余裕をもって編成できましたので楽しめます。一方女子は人員が足りない分、ひとりたくさん役をこなしなければなりません。準備を含め大変苦勞したようです。このため、女子の団結は強くなり、卒業して30年すぎても連絡をとりあつたりしています。高校にも慣れ、受験や就職にまだある高校2年生で、思いでの多いクラスとなりました。何人かは同窓会をやりたいなあと計画は持ち上がっていました。実際、もう一つの

の変則クラスB組は、何度か同窓会をやつていると伺っていました。A組は、記憶だけが頼りで暗礁に乗り上げた格好になっていました。

ある日高校生の娘が、同級生のお母さんも清水谷卒だと言つて帰つてきました。よくよく聞いて見ると、自分の同窓生で見ることができ、同窓会が行えない理由がわかりました。自分は、2年が終了するときにみんなで作った文集や修学旅行メモを持っていました。ずいぶん年代物の色になっていましたが、今となればタイムカプセルです。作つたときは、恥ずかしいようなものですけれど、時がたつと結構貴重なものに変化しています。これを元に昔の名簿で連絡をとることができました。45名のうち38名がわかりました。

11月末にさらによそのクラスまで拡げて忘年会も行いました。今後はさらに拡げて交流をしていきたいという希望を持っています。

2年生のときそのうちの1つに在籍していました。変則クラスに割り当てられた男子は、必ず女子の少なさに不平を申しました。しかし体育祭や文化祭などの行事のとき、男子は余裕をもって編成できましたので楽しめます。一方女子は人員が足りない分、ひとりたくさん役をこなしなければなりません。準備を含め大変苦勞したようです。このため、女子の団結は強くなり、卒業して30年すぎても連絡をとりあつたりしています。高校にも慣れ、受験や就職にまだある高校2年生で、思いでの多いクラスとなりました。何人かは同窓会をやりたいなあと計画は持ち上がっていました。実際、もう一つの

観劇会

本年第一回
日時 平成22年9月15日(水)
場所 新歌舞伎座
演目 「市川猿之助総監修 21世紀歌舞伎組」

第二回は未定ですが、観劇会未登録の方で参加ご希望の方は清友会事務局までご連絡下さい。

集う…楽しむ… 同窓生

俳句講座(清友こでまり会)

◎平成21年6月〜平成22年5月入選句より
大橋敦子選

空爆の母校に碑あり姫女苑	金森	信子
七夕や師に学ばなむ強き意思	栗谷	嘉野
照り陰り須臾に時雨るる寺の庭	本多	正子
祖谷溪の秋晴架かる蔓橋	間宮	和子
子なき娘の視線の先の七五三	井田	幸子
オルガンに合せ讀美歌降誕祭	宮崎	良
路地裏にかがやくばかり梅白し	寺井	久子
さざ波の寄する湖面や鳥帰る	西山加代子	
修二月会燃え跡の竹飾られて	芳井	貞子
休日に揃ふ家居や豆の飯	松本千恵子	
シリウスの輝きいよよ冴返る	片岡	良子
達磨の腹より何と大吉初みくじ	大橋	敦子
紙雛に随喜の京の菓子ありて	大橋	敦子

清友ゴルフ会

清友ゴルフコンペのご報告

清友ゴルフ会の第44回ゴルフコンペの結果をご報告します。ともに、次回以降のゴルフコンペの予定をご案内します。

清友ゴルフ会の第44回ゴルフコンペの結果を報告します。ともに、次回以降のゴルフコンペの予定をご案内します。

第44回ゴルフコンペの結果の報告

さる4月21日、伏尾ゴルフ倶楽部において、ゴルフコンペを実施しました。参加者は23名。東南コースと西東コースに分かれて同時にスタートしました。前日の雨が上がり、晴れの暖かい、すばらしいゴルフコンディションでした。団体戦も同時に行いました。スルーザグリーンは6インチプレスで、パットはオーケーなしのダブルバリア方式で、競技を行いました。

個人戦の結果

優勝は、大槻一弘さん(15回生)で、西38・東44のグロス82、ハンデ9・6、ネット72・4で回りました。0・4オーバの立派な成績でした。4回目の優勝です。日根野文三理事長寄贈の清友会理事長杯を獲得しました。ベスグロ賞も取りました。第41回からダブルバリア方式で競技するようになりましたが、初回で優勝した大槻さんはこの方式

団体戦の結果

今回は、同一学年で3人以上参加したのは6回生・8回生・11回生・15回生・16回生の5チームで、このうち、2チームが団体戦に参加しました。成績のよい上位3人のネットの合計数で順位を決めます。

次回以降の予定

次回以降のゴルフコンペは次のとおりです。第45回 平成22年10月19日(火) 伏尾ゴルフ倶楽部 8組 第46回 平成23年4月13日(水)

伏尾ゴルフ倶楽部 8組

だど自分が連続優勝すると豪語しました。そのとき以来の優勝です。次回が注目です。2位は野村重之さん(26回生)でした。西50・東47のグロス97、ハンデ124、ネット73で、1オーバーでした。3位は前回優勝の三原茂子さん(8回生)で、グロス97、ネット74・2でした。前回74・2でつた北村一さん(26回生)は惜しくも4位でした。BBは松野五郎さん(8回生)でした。

連絡方法

従来は①FAX又は②郵便でしたが、メールでの案内を希望される方が多くなりましたので、③メールを取り入れることにします。メールの案内を希望される方は natsunika@nrc.odn.ne.jp. までメールでご連絡ください。その際、件名を「清友ゴルフ会メール案内希望」にして頂き、本文には回生、氏名をお願いします。登録が完了しましたら、登録完了メールをお送りします。

清友コーラス

武上昌子・松宮清隆 橋本高明・野村重之

新部員大募集中!

本46回 澤井 綾子 高17回 杉本 末雄

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

伏尾ゴルフ倶楽部 8組

土曜日に時間が少し出来たなーと思われましたら、母校へいらして下さい。なつかしい校舎を眺め、友と話し楽しんでいませんか。老いても若きも関係なく、多くのご参加を、心からお待ち致しております。連絡先(06-6713-30113) (澤井記)

清友コーラス

本46回 澤井 綾子 高17回 杉本 末雄

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

毛筆画教室

高9回 阪田 貞子

なるのです。三枚ほど描いて持ち帰ります。ハガキにも残った絵の具で描いています。清友会員でなくても入会できますので、お友達と一緒に始めてみませんか。その時間だけでも別の世界へと誘ってくれること請け合いです。是非一度教室へ見学にお越し下さい。

ちなみに最近の写生材料を記しておきます。・さつまいもと落のとうらデッシュとレモン・笹カレイの干物・赤緑ピーマンとニンニク・アスパラと紫玉葱・紫陽花

紅型染教室

本44回 生駒 節子

昨年は教室開講25周年記念の作品展を実施しましたところ、皆様のご支援を得て盛会裡に上ることが出来ました。一同感謝の思いを糧にその後も展示品のリクエストに応じたり、新図柄を求めたりして休むことなく制作に当たっています。

そしてこの4月からは全員がそれぞれタテ120センチ、ヨコ80センチの大作に挑戦することになりました。図柄は沖繩の象徴である守禮の門から首里城を望み、貿易船の通う海の上空には鶴が舞うというもので、戦後に沖繩の紅型染の復活をさせた紅型染の第一人者と仰れている城間栄喜氏の原画を基にしたものです。これほど大きくなりますと、糊置き、彩色、水洗、乾燥など大がかりな作業が必要となり、快い汗を流しながら楽しんで取り組んでいます。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。

俳句講座は10月で280回を迎えます。大橋敦子先生は86歳になられましたが、お体のお悪い時でも懇切丁寧に私達の句を添削して下さいます。ご指導頂けますことを願っております。



クラブ代表会だより

クラブ代表会 議長

高28回 橋谷 吉郎

クラブ代表会議は、平成17年4月の同窓清友会設立時に、クラブOB・OG会の縦のつながりを生かし同窓会の年代の幅を広げることが目的として発足しました。現在は、クラブのOB・OG会の活性化を図るために、活動等がなく機能していないところなどを復活し、年代を超えて親睦交流を広げたいと思っております。現在の参加クラブは、【運動部】陸上競技・硬式テニス・軟式テニス・硬式野球・軟式野球・バレーボール・ラグビー・バスケットボール・器械体操・サッカー・

水泳・ワンダーフォーゲル【文化部】コーラス・アンサンブル・ギター・落語研究の16クラブです。またOB・OG会を組織化されていないところや、この代表会に参画されていないクラブはご支援しますので、清友会事務局までご連絡ください。また今年で第6回を数える「フェスタ清友」が今年の11月23日(火・祝)に開催されます。各OB・OG会の活性化を図るためのきっかけづくりとして、ご連絡のとれない方などお誘いの上、是非多数のご参加お待ちしております。

ドをお借りして、OB戦を行いました。総会は、会員相互の親睦や顧問及び現役生徒を招いて交流を深める場として、大きな役割を果たしている最も大切なOB会活動です。今後とも多数の方々のご参加を期待しております。



さて、OB会の活動を継続していくためにも、各回生のまともな役が必要で、ぜひ、当時のキャプテン等を中心にとまめ役を決めて頂き連絡先等をOB会事務局まで知らせてください。さらに、OB会独自のホームページの立ち上げを計画しております。ご協力をいただけている方の連絡を併せてお待ちしております。

谷の体育館の素晴らしさに驚いてもらいました。現役生との交流試合が始まると、当初は見学するだけだったおっちゃんも76歳、65歳も大張り切りでなかなか代わろうとされず、思わず「大丈夫かなあ?無理せん」といってやつと心配してしまいました。

また今年も女子もOG会を開催し、最近の卒業生が15名ぐらゐ、そして35回生が3名参加しました。これを機会にOG会とも組織を確立させ、OB会とともに続けていきたいと考えています。この後、かごの屋で懇親会が開かれ、29名のOB・OGが集まりました。先ほどの約46年振りの方たちも、いざ飲み始めるも時間の溝も一気に埋まり、昔話を肴にも、やかに会が進行しました。また、これも初めてのOGの参加により、いつになく華やいだ雰囲気、皆さん大盛り上がりうちに、無事お開きとなりました。

者、住所不明を除き約500名の方に行事案内を連絡発送しています。1、「春の平井・井上杯争奪ダブルス戦」及びOB総会を兼ねる新OBの歓迎会。2、「秋の団体戦」在校生とOBとの交流をより深める対抗戦。3、「ゴルフコンペ」体力の落ちたOBが、ゴルフを絆に親交を深めます。これらの行事を中心に、会員の相互親睦と、現役への援助を目的としたOB会組織です。

本年度の現役は、春の団体戦で女子が本戦に進む活躍をしてくれています。来年迎える創立110周年記念として、学校からもOB会との積極的な交歓を希望されていますので、OB会としても出来る限り協賛させて頂き、活動して行きたいと考えています。OBの皆さん、無関心で過ぎさず、むかし汗を流したテニスコートにもう一度寄って見ませんか?

陸上競技部OB・OG会

高10回 坂本 孝信

清水谷高等学校陸上競技部OB・OG会は平成19年に、現役部員の支援と会員の親睦を目的に発足しました。その一環として本年5月に、インターハイ大阪地区予選大会が開催された長居陸上競技場にOB・OG会有志が応援に集いました。競技場内の観覧席には参加各校のテント・幟(旗)が林立し、初応援のOB・OG達には清水谷高校の居場所が見つからず集合に手間取りました。そこで清水谷高校陸上部の幟(旗)を新たに作るなどの提案がなされ、応援参加の10回生森実氏が会社生活の経験を活かし幟のロゴ印刷・並びに幟用の竿12本を安価に調達する役を買って出てくださいました。二週間半後の5月末には完

成し、先ほどの地区大会を勝ち進んだ約10名の選手が出場した5月末のインターハイから使っていた清水谷ブルーの生地は白抜きで清水谷と染め抜いてあり、陸上部以外のクラブでも使用可能で、今後の活用が楽しみです。

成し、先ほどの地区大会を勝ち進んだ約10名の選手が出場した5月末のインターハイから使っていた清水谷ブルーの生地は白抜きで清水谷と染め抜いてあり、陸上部以外のクラブでも使用可能で、今後の活用が楽しみです。

また今年も女子もOG会を開催し、最近の卒業生が15名ぐらゐ、そして35回生が3名参加しました。これを機会にOG会とも組織を確立させ、OB会とともに続けていきたいと考えています。この後、かごの屋で懇親会が開かれ、29名のOB・OGが集まりました。先ほどの約46年振りの方たちも、いざ飲み始めるも時間の溝も一気に埋まり、昔話を肴にも、やかに会が進行しました。また、これも初めてのOGの参加により、いつになく華やいだ雰囲気、皆さん大盛り上がりうちに、無事お開きとなりました。

者、住所不明を除き約500名の方に行事案内を連絡発送しています。1、「春の平井・井上杯争奪ダブルス戦」及びOB総会を兼ねる新OBの歓迎会。2、「秋の団体戦」在校生とOBとの交流をより深める対抗戦。3、「ゴルフコンペ」体力の落ちたOBが、ゴルフを絆に親交を深めます。これらの行事を中心に、会員の相互親睦と、現役への援助を目的としたOB会組織です。

本年度の現役は、春の団体戦で女子が本戦に進む活躍をしてくれています。来年迎える創立110周年記念として、学校からもOB会との積極的な交歓を希望されていますので、OB会としても出来る限り協賛させて頂き、活動して行きたいと考えています。OBの皆さん、無関心で過ぎさず、むかし汗を流したテニスコートにもう一度寄って見ませんか?

バスケット部OB会

高21回 宮木 秀治

ラグビー部OB会

代表 高24回 中西 修一

今年度のOB会活動は、総会を7月24日(土)に開催しました。平成21年度は36名の参加でした。そして、同じ日に、母校のグラウン

ドをお借りして、OB戦を行いました。総会は、会員相互の親睦や顧問及び現役生徒を招いて交流を深める場として、大きな役割を果たしている最も大切なOB会活動です。今後とも多数の方々のご参加を期待しております。

また今年も女子もOG会を開催し、最近の卒業生が15名ぐらゐ、そして35回生が3名参加しました。これを機会にOG会とも組織を確立させ、OB会とともに続けていきたいと考えています。この後、かごの屋で懇親会が開かれ、29名のOB・OGが集まりました。先ほどの約46年振りの方たちも、いざ飲み始めるも時間の溝も一気に埋まり、昔話を肴にも、やかに会が進行しました。また、これも初めてのOGの参加により、いつになく華やいだ雰囲気、皆さん大盛り上がりうちに、無事お開きとなりました。

者、住所不明を除き約500名の方に行事案内を連絡発送しています。1、「春の平井・井上杯争奪ダブルス戦」及びOB総会を兼ねる新OBの歓迎会。2、「秋の団体戦」在校生とOBとの交流をより深める対抗戦。3、「ゴルフコンペ」体力の落ちたOBが、ゴルフを絆に親交を深めます。これらの行事を中心に、会員の相互親睦と、現役への援助を目的としたOB会組織です。

本年度の現役は、春の団体戦で女子が本戦に進む活躍をしてくれています。来年迎える創立110周年記念として、学校からもOB会との積極的な交歓を希望されていますので、OB会としても出来る限り協賛させて頂き、活動して行きたいと考えています。OBの皆さん、無関心で過ぎさず、むかし汗を流したテニスコートにもう一度寄って見ませんか?

者、住所不明を除き約500名の方に行事案内を連絡発送しています。1、「春の平井・井上杯争奪ダブルス戦」及びOB総会を兼ねる新OBの歓迎会。2、「秋の団体戦」在校生とOBとの交流をより深める対抗戦。3、「ゴルフコンペ」体力の落ちたOBが、ゴルフを絆に親交を深めます。これらの行事を中心に、会員の相互親睦と、現役への援助を目的としたOB会組織です。

バレー部OB会

高34回 仲宗根信成

今年も平成22年5月22日(土)夕方、北新地・木曾路にてバレー部OB会が開催されました。出席者33名のうち34回生が最年少でバレー部OB会も多分にもれず高齢化の波が寄せているのを感じましたが、女性の先輩方が非常に元気よく、男子OBの大先輩もまたじりじりの場面があるなど、大変盛り上がった会となりました。私にとっても、高校卒業以来ほぼ30年ぶりに1つ上の先輩ともお会いでき、現役時代の話で高校時代の記憶がよみがえりとても有意義な集まりでした。

現役近況報告で現在男子バレー部が休部中と聞き、やはりOBとしてささしい限りで、ぜひ復活して欲しいと思います。最後に、元顧問の岡竹先生より、毎年のこの会に出席することをとても楽しみにされておられることを伺いし、出席者全員で、岡竹先生にはぜひ100歳までお元気でこの会に出席してくださいることを祈念して閉会しました。

当日は、永らく親交の絶えていた後輩たちとの再会などもあり、大変楽しく過ごさせて頂きました。今年もまた「第6回フェスタ清友」が来る11月23日(火・祝)に開催され、今回落研は高24回の清笑亭役三氏の落語と、OB数名による対談などになる予定です。久しく遠ざかっていた先輩方の口演やお話を今から心待ちにしています。残念ながら、現在、現役生による清水谷高校落語研究会は存在しませんが、毎年12月30日に行われている「OB・OG忘年会」は、今もOBたちによって引き継がれています。

軟式野球部OB・OG会

会長 高17回 黒田 満夫

軟式野球部OB・OGのみなさん元気してますか?今年(2010年)春(5月22日)、2年振りにOB会を開催しました。テニス部は10時から16時の間、母校テニスコートをお借りし、16期〜59期のOB・OG20名が集い、ラリーに試合に久しぶりの汗を流しました。

引き続き場所を変えての総会兼懇親会を17時から開催し、16期〜58期OB・OG・総勢42名の参加を得、和気藹々軟硬部の縦横の繋がりを確認しあいました。今回、都合悪く参加叶わなかったOB・OGの方々

も次回【2年後開催予定】は是非元気なお顔をお見せ下さい。(御願い)同期・先輩・後輩の情報をお寄せ下さい。▽連絡先 m_kuroda@fianenco.plala.or.jp

落語は、高32回のプロの噺家桂福車師による「看板の(ピン)」対談は福車師と、高36回の横田宏之氏による心に残る恩師の「よもやま話」といった内容で、往時を知る者にとっては、おかしくも懐かしいひとときでした。

落語研究部OB・OG会

高33回 長谷川宗明

落語研究部は、昨年度の「第5回フェスタ清友」において、落語一席と、在学時の思い出を語る対談を致しました。

落語は、高32回のプロの噺家桂福車師による「看板の(ピン)」対談は福車師と、高36回の横田宏之氏による心に残る恩師の「よもやま話」といった内容で、往時を知る者にとっては、おかしくも懐かしいひとときでした。

当日は、永らく親交の絶えていた後輩たちとの再会などもあり、大変楽しく過ごさせて頂きました。今年もまた「第6回フェスタ清友」が来る11月23日(火・祝)に開催され、今回落研は高24回の清笑亭役三氏の落語と、OB数名による対談などになる予定です。久しく遠ざかっていた先輩方の口演やお話を今から心待ちにしています。残念ながら、現在、現役生による清水谷高校落語研究会は存在しませんが、毎年12月30日に行われている「OB・OG忘年会」は、今もOBたちによって引き継がれています。

訂正

平成21年10月1日付会報回生だより「高2回山崎和子さんの記事で「高校2回生の佳野利子」とあるのは「住野利子」とあるの誤りでした。クラブ代表会だより落語研究会OB・OG会の記事で「高36回 横田宏之」とあるのは「高28回 竹中治郎」とあるの誤りでした。ご迷惑をおかけ致しましたことをお詫びし訂正いたします。

回生代表会だより

回生代表会 議長

高7回 内田 房男

4月24日(土) 済美館 3Fにて評議員会・諮問委員会に続き回生代表会を開催(出席者21名) テーマは

- ①回生代表の再確認(資料)
・回生代表の役割
・回生代表のあり方
②大阪府立清水谷高等学校 創立110周年記念事業の現況報告(資料)
③年会費・記念募金について現況報告
・お願いしたい事
④その他

②、③については回生代表会の前に開かれた評議員会・諮問委員会にて、日根野会長より詳しく説明①については話し合う。出席者には資料(欠席者には後送)として

○回生代表の役割について
回生代表(原則2名)は、同学年会員を代表しており、清友会と各回生会員との重要なパイプ役として「清友会」の行う事業に積極的に参加・勧誘・意見の発議などを行うことで清友会事業推進の成否を握っております。
○主な役割は
一、回生代表会議への出席
二、定時総会
三、合同会議(7月または8月)
四、予算総会(4月)、決算総会・総会懇親会(6月)、

新年五礼会(1月)などの事業への会員の出席依頼と取りまとめ
三、公開セミナー・フェスタ清友など清友会事業への参加と動員
四、会報「清友」やホームページへの投稿
五、同期会の開催日及び状況を清友会に連絡

○今後の回生代表会議について
一、清友会事業への積極参加
二、欠員回生代表及び無連絡回生代表の扱いについて(以上資料)

さて今後の回生代表会の活性化のために出席者の中から執行委員として、吉岡武(高8)、新美啓之(高13)、熊順一(高21)、立川優(高40)の各氏を選出。次会の代表者会議5月29日(土)に無連絡代表についてどのような行動を起こすかについて打ち合わせ無連絡者には電話にて連絡し、その状況を調査する。その結果は回生代表会議5月29日(土)にて新美委員より出席者(32名)に説明する。その会議では、同期会の状況など積極的に話し合いがなされ、今後は110周年を機会として回生代表会は活性化されて行くと思われ。

新緑のクロアチア・スロベニアを訪れて

高15回 村上 武



恒例の江口先生の企画による旅行で、私は家内共々二度目の参加となりました。彼の地がどんな所かよく知らずに、まあ昔のユーゴスラヴィアのことなのか、なぐらひの知識でした。最近の観光PRなんかでドブロクニクの紹介などは見たことはありましたが...

5月13日夜閑空よりイスタンブールを経由してザグレブへ、12時間程で到着しました。時差は7時間あるらしいです。現地の添乗員に連れられて市内観光のスタートです。聖母被昇天大聖堂や聖マルコ教会、13世紀の聖壁の一部石の門などを見学して、小高い丘の上から見下ろした旧市街は緑豊かで、青い色の市電なんかも走っていてとてもこれが12、3年前まで内線に明け暮れていた国とは思えませんでした。この日はザグレブから一時間程バスで走った田舎町ゴブリンで一泊。

明くる日は朝から雨模様で、古都シベニクとスプリット市内観光をしました。が、お昼に食べたプロシユウトは絶品でした。3日目も小雨でしたが待望のアドリア海の真珠ドブリクニクへ、旧市街は城壁に囲まれた周囲1キロ程の小さな町で、驚いたことにこの世界遺産の中に人が住んでいて、細い路地に洗濯物が干してあったりしました。ドブリクニクにしても次の日に行ったトロギールも中世の街というより、古代ローマの街へ迷い込んだような印象でした。観光5日目は緑豊かなブトビッチェ国立公園の中を散策。尾瀬と奥入瀬を合わせたようなところに、段々になった湖と多くの滝を足したようなマイナスイオンたっぷりの、美しい世界遺産でした。それからポイストナの鍾乳洞はトロッコで2キロ程入って桁違いのスケールに大いに驚かされました。最後に訪れたブレッド湖は湖畔に、今上天皇皇后陛下が、お泊りになったホテルがあり湖の中の小島へ、手漕ぎのボートで渡り小さな教会で、望みの鐘のエピソードを聞いたり近くのブレッド城に上ったり、楽しい時間を過ごしました。今回は、江口先生の美術史や芸術史のお話を、あまり聞く機会がなかったのが少し残念な旅行でした。

2011年度清友会海外旅行計画

パリを中心にフランスの文化と芸術を時間をかけて楽しむ。

フランスは日本とイタリアと並んで芸術と文化の国であることはご存知でしょう。特にパリを中核とするイルド・フランス地方はそのエッセンスと云えましょう。
パリにはルーブル、オルセー(秋に再開の予定)、ポンピドゥセンター、ギメ美術館(東洋美術)、クリニユーへ(フランス中世美術)などの大美術館と共にロダン、モロー、ピカソ等の個人のすぐれた美術館があり、ノートルダム、サント・シャベル等のステンドグラスの美しい聖堂。
凱旋門、オペラ座、エッフェル塔、アンヴァリッド、リュクサンブール宮などの歴史的建造物。シャンゼリゼ、モンマルト、フローニウの森の散歩道。これらの見どころはとも1日や2日では巡りきれものではありません。そこで参加者個人個人の興味や感心に重きを置いて数日のフリーディを設定しました。パリ市内の移動には地下鉄が便利で自由に乗り降り出来るバスを用意し、美術館等に自由に入出入り出来るバスも同様に用意します。それによってパリ市内を思いのままに楽しんで頂けることと致し。
その為には事前に説明会で地図や資料を配布し見どころを十分に研究する予定です。

パリ郊外の一日はヴェルサイユ宮殿やシャルトル大聖堂の見学にバスを仕立てて行く予定です。
又時間があればセーヴル焼の国立陶器工場も訪れます。もう一日はサン・ジェルマン・アン・レーのシャトウにあるフランス古代博物館に旧石器時代の美術を見学します。その後、シャンティエ城及びシャンティエ美術館を見学します。
したがって今回はパリ市内を4日、パリ郊外を2日かけてフランス文化を堪能する予定です。

企画、同行解説 江口善之(高8回、元京都芸大教授)
募集要項
日時 2011年10月7日~14日
費用 約30万円(諸費用込み)
募集人員 20~25名
申込問い合わせ先
日本旅行 京都四条支店
京都市下京区四条通柳馬場西入 ニッセイ四条柳馬場ビル2F
TEL.(075)223-2311 担当者 伊藤 成親

訃報
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
戒居 土郎先生(国語)
平成22年2月28日ご逝去
北村 勇先生(歴史)
平成18年9月5日ご逝去

先生方の人事異動
●着任
教頭 若林 智子
事務局長 大井 武司
(布施高校より)
●離任・退職
教頭 一色千賀子(旭高校校長)
事務局長 彦坂 武志(退職)

清友会のHPアドレス http://www12.ocn.ne.jp/~seiyukai/
メールアドレス seiyukai@carrot.ocn.ne.jp
学年会の周知なども検索することができますので、ご活用とともにご意見もお寄せ下さい。
創立110周年記念募金にご協力お願い致します。

清友会行事のお知らせ

〈予算総会〉

総会・懇親会

平成23年4月23日(土) PM 3:00~4:00
会場 清水谷高校
「済美館」3階

〈決算総会と懇親会〉

平成23年6月18日(土) PM 0:00~3:00
総会后、懇親会を行います。
会場 ホテルグランヴィア大阪20階
会費 8,000円
申込先 各学年代表まで

第29回 公開セミナー 薬業年金会館 PM2:00~4:00

平成22年11月27日(土)
講師 齋藤 秋子氏 (高7回)
演題 「ア・イ・ウ・エ・オと共に」

平成23年 2月19日(土)
講師 仲宗根 信成氏 (高34回生)
演題 「ねんきんと社会保険のお話し」

セミナーは清友会会員以外の方も参加できますので、
お誘いあわせのうえ多数ご参加下さい。

新年互礼会

平成23年 1月23日(日) PM 0:30~3:00
会場 ホテルグランヴィア大阪20階
会費 10,000円
締切り 平成22年12月24日(金)
申込先 清友会事務局



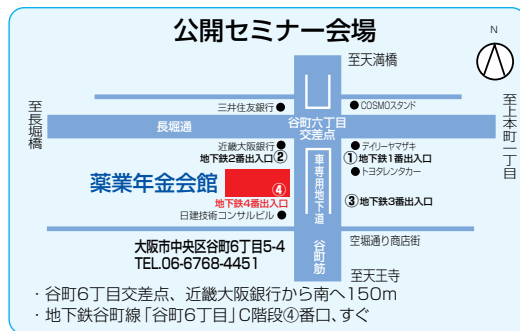
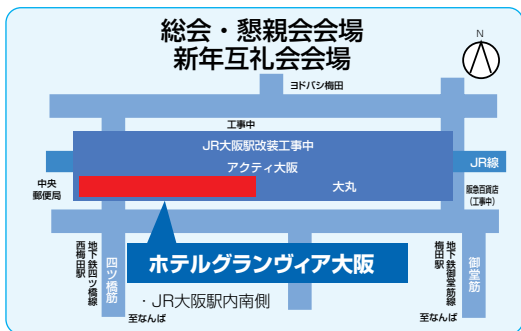
新しい年のはじめを
お祝いいたしましょう。
皆様お誘い合わせて
ご参加下さい。

第6回 フェスタ清友

平成22年11月23日(火・祝)
PM 1:00~4:10
清水谷高校 小体育館
詳しくはp.23をご覧ください。

〈懇親会〉

同日 PM 4:30~6:30
「かごの屋」(母校北向かい)



清友会事務局 FAX番号が変わりました
TEL 06-6768-4159 FAX 06-6770-5015 火・金曜日 10:00~16:00

事務局だよ

個人情報保護について

プライバシーポリシー
(個人情報保護方針)
社団法人清友会および同窓清友会は、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の保護に努めます。

◎全会員の名簿はプライバシー保護のため、平成4年版以降発行してありません。各回生で名簿が必要な場合は回生代表を通じて原簿「コピー」または「宛名シール」を頒布いたします。その際、個人情報保護法に則り使用目的に関する誓約書の提出をお願いいたします。

住所・氏名の変更やご逝去等がありましたら、葉書又はFAX・Eメールにて清友会または回生代表までご連絡下さい。

◎会費払込みのご案内
会費の納入は同封の払込用紙でお願いたします。

郵便振替口座(会費納入専用)
00910-6-101489

◎同窓「清友会」
「同窓 清友会」
00910-6-101489

◎同窓会館「済美館」の使用及び母校校舎見学について
事務局までご相談下さい。

◎事務局への連絡、お問い合わせ
済美館一階 厚見姉まで。
住所 大阪市天王寺区清水谷町2-44 (〒543-0011)
清水谷高校内「清友会」

編集後記

今号は創立110周年記念事業、公益法人制度改革の記事を増ページで掲載しています。
— 深める絆、次代に繋ぐ —
会報へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。(F)